

平成 27 年国勢調査事後調査 確報結果について

1 事後調査の概要

(1) 調査の目的

国勢調査の調査方法及び調査対象の把握状況を検証し、結果利活用上の留意点の把握や今後の国勢調査の企画設計等に資すること。

(2) 調査の時期

平成27年11月20日（金）午前零時現在で実施

(3) 調査の地域

事後調査は、国勢調査調査区のうち、「一般調査区」においては1,500分の1の割合、「社会施設、病院のある区域」等の特別調査区においては500分の1の割合で抽出した調査区について行った。なお、抽出された指定調査区数は、一般調査区が637、特別調査区が53の合計690調査区で、集計対象世帯数は約35,000世帯である。

(4) 調査事項

事後調査の調査事項は、ア～ウのとおりである。（事後調査調査票を参照）

ア 世帯員に関する事項

①氏名、②男女の別、③出生の年月、④世帯主との続き柄、⑤配偶の関係、⑥国籍、⑦就業状態、⑧平成27年10月1日現在の常住地、⑨平成27年10月1日現在の住民登録の状況、⑩平成27年9月10日から10月20日までの間に常住地以外で寝泊まりした場所の有無、⑪平成27年9月10日から10月20日までの間に常住地以外で寝泊まりした理由、⑫国勢調査への回答の有無、⑬国勢調査への回答者、⑭国勢調査への回答方法、⑮国勢調査を受けた場所

イ 世帯に関する事項

①世帯の種類、②住宅の建て方及び型式

ウ 当該世帯で国勢調査を受けたが事後調査時にいない人に関する事項

①氏名、②男女の別、③出生の年月

(5) 調査の方法

事後調査は、総務省統計局－都道府県－調査員－世帯の流れにより、調査員が事後調査調査票及びインターネット回答のログイン情報を世帯ごとに配布し、世帯が調査票で回答するかオンラインで回答するかを選択できる方法（並行方式）で行った。

(6) 調査票の照合

事後調査の調査票に記入された者全員について、「都道府県・市区町村コード」、「調査区番号」、「世帯番号」、「男女の別」及び「出生の年月」並びに調査票の所在記入欄（7欄、9欄及び14欄）により国勢調査の調査票と照合し、「常住地の1か所で把握された」、「複数箇所把握された」、「常住地以外の1か所で把握された」、「把握されなかった」等に区分した。

2 結果の概要

(1) 回答者属性について

<本体調査時点の住民登録地>

- 本体調査時点（平成27年10月 1 日時点）の住民登録地の割合を全国でみると、「10月 1 日時点の常住地と同じ住所」が97.03%、「それ以外の住所」が2.97%となっており、常住地と同じ住所に住民登録している割合が非常に高い。
- 世帯の種類別にみると、寮・寄宿舍、病院・療養所、社会施設等の「施設等の世帯」では、「それ以外の住所」が63.35%と約6割を占める。
- 男女別にみると、住民登録地の割合に男女差はみられない。
- 年齢階級別にみると、「20～24歳」、「25～29歳」及び「85歳以上」で「それ以外の住所」の割合が高い。

<本体調査調査票提出方法別回答者>

- 本体調査調査票提出方法別に回答者の割合をみると、「インターネットで回答」した割合は、男性が女性と比べてやや高い。
- 年齢階級別にみると、男性は60歳未満までは、女性は55歳未満までは「インターネットで回答」した割合が5割以上を占めているが、60歳以上では男女いずれも「郵送で提出」又は「調査員に提出」の割合が高くなる傾向がみられる。
- 労働力状態別にみると、「調査員に提出」は「インターネットで回答」に比べて、家事、通学、高齢などの非労働力人口の割合が高い。

<外国人のいる世帯の本体調査調査票提出方法別世帯数>

- 一般世帯及びそのうち外国人のいる世帯について、「インターネットで回答」の割合をみると、日本人がいないほど「インターネットで回答」の割合が低くなり、調査員提出の割合が高い。

(2) 把握状況（照合結果）について

- 事後調査結果と本体調査結果の照合結果から、本体調査における把握状況をみると、「本体調査で把握された」世帯員の割合は99.24%、「本体調査で把握されなかった」世帯員の割合は0.76%となっている。「本体調査で把握された」世帯員の内訳は、国勢調査の定義のとおり「常住地の1か所で把握された」世帯員の割合が98.03%、「複数箇所では把握された」世帯員の割合が1.03%、「常住地以外の1か所で把握された」世帯員の割合が0.18%となっている。

<属性別把握状況>

- 世帯の種類別にみると、施設等の世帯で「本体調査で把握されなかった」又は「常住地以外の1か所で把握された」世帯員の割合が高い。
- 事後調査調査事項「本体調査を受けたか否か」の回答別にみると、回答の内容による照合状況の違いはほとんどみられない。
- 男女、年齢階級別にみると、「本体調査で把握されなかった」世帯員の割合は、高齢者の多い女性で特に「85歳以上」が高く、また「20～24歳」及び「0歳」は男女ともに高い。「複数

箇所では把握された」世帯員の割合は、男性では特に40～50歳代で、女性では「15～19歳」が高い。

- 配偶関係別にみると、未婚、死別及び離別は、有配偶より「本体調査で把握されなかった」世帯員の割合が高い。
- 世帯主との続き柄別にみると、「本体調査で把握されなかった」世帯員の割合は、男性の「世帯主の配偶者」及び女性の「祖父母」で高い。
- 国籍別にみると、国籍が「外国」である世帯員は、国籍が「日本」である世帯員と比べて「本体調査で把握されなかった」世帯員の割合が高い。
- 住宅の建て方別にみると、区分による照合状況の違いはほとんどみられない。
- 本体調査時点の住民登録地別にみると、「常住地と別」の住所に住民登録していた世帯員が「本体調査で把握されなかった」世帯員の割合及び「常住地以外の1か所で把握された」世帯員の割合が高い。
- 留守の状況別にみると、「本体調査で把握されなかった」世帯員の割合は、本体調査前後に常住地以外に寝泊まりした理由が「通学」、「出稼ぎ・単身赴任」、「入院療養」で高く、「複数箇所では把握された」世帯員の割合は「出稼ぎ・単身赴任」、「別宅・別荘に滞在」、「通学」及び「入院療養」で高い。
- 世帯主の年齢階級別に世帯の本体調査における把握状況をみると、「20～24歳」で「本体調査で把握されなかった者がいる」世帯の割合が最も高く、15～25歳の若年層で「全員が本体調査で常住地の1か所で把握された」世帯の割合が低い。

3 今後の国勢調査の企画に向けて

次回以降の国勢調査の企画においては、特に次の点について留意すべきと考える。

- ・ オンライン回答率の低い傾向にある女性や高齢者等に向けて、オンライン回答ブースの設置等インターネットによる回答を促進するための手段を検討する。
- ・ 外国人に対しては、国勢調査の必要性やオンライン回答方法についてのリーフレット等を活用し、調査への参加を促すことを検討する。
- ・ 若年層及び0歳児については、特に把握漏れの可能性が高いため、これらの層に対する対応を検討する。
- ・ 施設等世帯に居住する世帯員及び通学や出稼ぎ・単身赴任などで自宅を長期に不在にしている世帯員、並びに複数の住所がある世帯員については、「常住地」の定義を理解し、正しく回答できるよう、調査員への指導を徹底するとともに、世帯に配布する調査用品で分かりやすく説明するなど工夫を検討する。

平成27年国勢調査事後調査でみる 国勢調査の回答者属性及び把握状況

目 次

ページ

1	事後調査の概要	1
2	事後調査結果をみる上での留意点	2
3	割合の算出方法	2
4	事後調査確報集計の基本数	3
5	結果の概要	3
6	調査結果	
(1)	世帯の種類別本体調査時点の住民登録地	6
(2)	男女, 年齢階級別本体調査時点の住民登録地	7
(3)	男女, 年齢階級, 本体調査調査票提出方法別回答者	9
(4)	男女, 労働力状態, 本体調査調査票提出方法別回答者	11
(5)	外国人のいる世帯, 本体調査調査票提出方法別世帯数	13
(6)	世帯の種類別本体調査における把握状況	14
(7)	本体調査を受けたか否か別本体調査における把握状況	14
(8)	男女, 年齢階級別本体調査における把握状況	15
(9)	配偶関係別本体調査における把握状況	18
(10)	世帯主との続き柄別本体調査における把握状況	18
(11)	外国人の本体調査における把握状況	19
(12)	住宅の建て方別本体調査における把握状況	20
(13)	本体調査時点の住民登録地別本体調査における把握状況	21
(14)	留守の状況別本体調査における把握状況	22
(15)	世帯主の年齢階級別世帯の本体調査における把握状況	22

付録

付 1	平成27年国勢調査の概要	24
付 2	平成27年国勢調査調査票	27
付 3	平成27年国勢調査事後調査調査票	29

1 事後調査の概要

(1) 調査の目的

平成27年国勢調査事後調査（以下「事後調査」という。）は、平成27年国勢調査（以下「本体調査」という。）の調査方法及び調査対象の把握状況を検証し、本体調査の結果利活用上の留意点の把握や今後の国勢調査の企画設計等に資することを目的として実施したものである。

(2) 調査の時期

事後調査は平成27年11月20日（金）午前零時現在によって行った。

(3) 調査の地域

事後調査は、本体調査調査区のうち、「一般調査区」（後置番号1の調査区）、「社会施設、病院（おおむね患者200人以上の収容施設を有するもの）のある区域」（後置番号4の特別調査区）及び「おおむね50人以上の単身者が居住している寄宿舍・寮等のある区域」（後置番号8の特別調査区）を母集団調査区として、「一般調査区」にあつては1,500分の1の割合、「社会施設、病院のある区域」及び「おおむね50人以上の単身者が居住している寄宿舍・寮等のある区域」にあつては500分の1の割合で無作為抽出した調査区（以下「指定調査区」という。）について行った。なお、抽出された指定調査区数は、一般調査区が637、特別調査区が53（後置番号4が39、後置番号8が14）で、合計690調査区である。

(4) 調査の対象

事後調査は、指定調査区内に常住する全ての世帯及び世帯員を対象として行った。

(5) 調査事項

事後調査の調査事項はア～ウのとおりであり、ア及びイについては調査票のⅠ欄により、ウについてはⅡ欄により調査した。（付3 平成27年国勢調査事後調査調査票を参照）

ア 世帯員に関する事項

①氏名，②男女の別，③出生の年月，④世帯主との続柄，⑤配偶の関係，⑥国籍，⑦就業状態，⑧平成27年10月1日現在の常住地，⑨平成27年10月1日現在の住民登録の状況，⑩平成27年9月10日から10月20日までの間に常住地以外で寝泊まりした場所の有無，⑪平成27年9月10日から10月20日までの間に常住地以外で寝泊まりした理由，⑫国勢調査への回答の有無，⑬国勢調査への回答者，⑭国勢調査への回答方法，⑮国勢調査を受けた場所

イ 世帯に関する事項

①世帯の種類，②住宅の建て方及び型式

ウ 当該世帯で国勢調査を受けたが調査時にいない人に関する事項

①氏名，②男女の別，③出生の年月

(6) 調査の方法

事後調査は、総務省統計局－都道府県－調査員－世帯の流れにより、調査員が事後調査調査票及びインターネット回答のログイン情報を世帯ごとに配布し、世帯が調査票で回答するかオンラインで回答するかを選択できる方法（並行方式）で行った。

(7) 調査票の照合

事後調査の調査票に記入された者全員について、「都道府県・市区町村コード」、「調査区番号」、「世帯番号」、「男女の別」及び「出生の年月」並びに7欄「平成27年10月1日現在の常住地」、9欄「平成27年9月10日から10月20日までの間に常住地以外で寝泊まりした場所」の住所記入欄（都道府県，市郡，区町村，丁目，番地，号及びフリー記入欄）及び14欄「国勢調査を受けた場所」により本体調査調査票に記入された全ての世帯員と照合し、「常住地の1か所で把握された」、「複数箇所では把握された」、「常住地以外の1か所で把握された」、「把握されなかった」、「照合結果「不詳」」、「調査対象外」及び「氏名が不詳等のため現住所での照合不可」の判定を行った。

2 事後調査結果をみる上での留意点

事後調査結果では、調査員に調査に精通した者を充てるなど調査の正確性を期しているものの、記憶に基づく質問など事後調査特有の調査事項があることなどから、事後調査の結果のみから本体調査の把握状況を正確に推定することは困難な部分もあり、結果の利用に当たっては、以下の点に留意が必要である。

- ・事後調査は標本調査であるため、標本誤差が存在すること。
- ・事後調査は一般統計調査であり、調査対象者に報告義務が課されないこと。
- ・事後調査の調査項目の中には、約2か月前の状況を把握するもの（「平成27年9月10日から10月20日までの間に常住地以外で寝泊まりした場所の有無」や「平成27年9月10日から10月20日までの間に常住地以外で寝泊まりした理由」等）があり、調査票記入者の記憶に頼るものがあること。
- ・事後調査調査票について、世帯における実際の回答者が、本体調査調査票の回答者と同じであるか分からないこと。

3 割合の算出方法

本報告書における事後調査結果の割合は、地域別及び後置番号別に乗率を用いた推計値を基に算出している。回答属性に関する分析においては、分母は各調査項目に記入があった世帯人員総数とし、把握状況に関する分析においては、「照合結果「不詳」」、「調査対象外」及び「氏名が不詳等のため現住所での照合不可」を除いて割合を算出している。

4 事後調査確報集計の基本数

事後調査の集計は、本体調査の集計時期と重なること、また、本体調査の集計結果が確定しない限りは照合作業が実施できないことから、一部の結果を早期に把握するために、事後調査調査票の記入情報のみで集計を行った結果を速報集計として公表した。一方、確報集計では、必要なデータチェックを行った上で、事後調査調査票の記入情報及び本体調査との照合結果を用いて集計しており、基本数は以下のとおりである。

表 1 事後調査確報集計の集計対象世帯数及び世帯人員数

	集計対象	
	世帯数	世帯人員数
全国	34,793	82,516
北海道・東北ブロック	4,433	10,960
関東甲信静ブロック	14,000	31,323
東海・北陸ブロック	3,475	9,089
近畿ブロック	5,900	13,960
中国・四国ブロック	3,002	7,271
九州ブロック	3,983	9,913
(再掲) 大都市	11,158	22,786
(再掲) 大都市以外	23,635	59,730
(再掲) 東京都	4,654	8,023

注) 「大都市」とは、札幌市、仙台市、さいたま市、千葉市、東京都特別区部、横浜市、川崎市、相模原市、新潟市、静岡市、浜松市、名古屋市、京都市、大阪市、堺市、神戸市、岡山市、広島市、北九州市、福岡市、熊本市の「21大都市」をいう。

また、地方ブロックは、事後調査集計において全国の都道府県を以下の6つのブロックに分けたものをいう。

ブロック名	該当都道府県名
北海道・東北ブロック	北海道、青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県、新潟県
関東甲信静ブロック	茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、山梨県、長野県、静岡県
東海・北陸ブロック	富山県、石川県、岐阜県、愛知県、三重県
近畿ブロック	福井県、滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県
中国・四国ブロック	鳥取県、島根県、岡山県、広島県、山口県、徳島県、香川県、愛媛県、高知県
九州ブロック	福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県、沖縄県

5 結果の概要

<本体調査時点の住民登録地>

- 本体調査時点（平成27年10月1日時点）の住民登録地の割合を全国でみると、「10月1日時点の常住地と同じ住所」が97.03%、「それ以外の住所」が2.97%となっており、常住地と同じ住所に住民登録している割合が非常に高い。
- 世帯の種類別にみると、寮・寄宿舎、病院・療養所、社会施設等の「施設等の世帯」では、「それ以外の住所」が63.35%と約6割を占める。
- 男女別にみると、住民登録地の割合に男女差はみられない。
- 年齢階級別にみると、「20～24歳」、「25～29歳」及び「85歳以上」で「それ以外の住所」の割合が高い。

＜本体調査調査票提出方法別回答者＞

- 本体調査調査票提出方法別に回答者の割合をみると、「インターネットで回答」した割合は、男性が女性と比べてやや高い。
- 年齢階級別にみると、男性は60歳未満までは、女性は55歳未満までは「インターネットで回答」した割合が5割以上を占めているが、60歳以上では男女いずれも「郵送で提出」又は「調査員に提出」の割合が高くなる傾向がみられる。
- 労働力状態別にみると、「調査員に提出」は「インターネットで回答」に比べて、家事、通学、高齢などの非労働力人口の割合が高い。

＜外国人のいる世帯の本体調査調査票提出方法別世帯数＞

- 一般世帯及びそのうち外国人のいる世帯について、「インターネットで回答」の割合をみると、日本人がいないほど「インターネットで回答」の割合が低くなり、調査員提出の割合が高い。

＜把握状況＞

- 事後調査結果と本体調査結果の照合結果から、本体調査における把握状況をみると、「本体調査で把握された」世帯員の割合は99.24%、「本体調査で把握されなかった」世帯員の割合は0.76%となっている。「本体調査で把握された」世帯員の内訳は、国勢調査の定義のとおり「常住地の1か所で把握された」世帯員の割合が98.03%、「複数箇所では把握された」世帯員の割合が1.03%、「常住地以外の1か所で把握された」世帯員の割合が0.18%となっている。

＜属性別把握状況＞

- 世帯の種類別にみると、施設等の世帯で「本体調査で把握されなかった」又は「常住地以外の1か所で把握された」世帯員の割合が高い。
- 事後調査調査事項「本体調査を受けたか否か」の回答別にみると、回答の内容による照合状況の違いはほとんどみられない。
- 男女、年齢階級別にみると、「本体調査で把握されなかった」世帯員の割合は、高齢者の多い女性で特に「85歳以上」が高く、また「20～24歳」及び「0歳」は男女ともに高い。「複数箇所では把握された」世帯員の割合は、男性では特に40～50歳代で、女性では「15～19歳」が高い。
- 配偶関係別にみると、未婚、死別及び離別は、有配偶より「本体調査で把握されなかった」世帯員の割合が高い。
- 世帯主との続き柄別にみると、「本体調査で把握されなかった」世帯員の割合は、男性の「世帯主の配偶者」及び女性の「祖父母」で高い。
- 国籍別にみると、国籍が「外国」である世帯員は、国籍が「日本」である世帯員と比べて「本体調査で把握されなかった」世帯員の割合が高い。
- 住宅の建て方別にみると、区分による照合状況の違いはほとんどみられない。
- 本体調査時点の住民登録地別にみると、「常住地と別」の住所に住民登録していた世帯員が「本体調査で把握されなかった」世帯員の割合及び「常住地以外の1か所で把握された」世

帯員の割合が高い。

- 留守の状況別にみると、「本体調査で把握されなかった」世帯員の割合は、本体調査前後に常住地以外に寝泊まりした理由が「通学」、「出稼ぎ・単身赴任」、「入院療養」で高く、「複数箇所では把握された」世帯員の割合は「出稼ぎ・単身赴任」、「別宅・別荘に滞在」、「通学」及び「入院療養」で高い。
- 世帯主の年齢階級別に世帯の本体調査における把握状況をみると、「20～24歳」で「本体調査で把握されなかった者がいる」世帯の割合が最も高く、15～25歳の若年層で「全員が本体調査で常住地の1か所で把握された」世帯の割合が低い。

これらの結果から、次回以降の国勢調査の企画においては、特に次の点について留意すべきと考える。

- ・ オンライン回答率の低い傾向にある女性や高齢者等に向けて、オンライン回答ブースの設置等インターネットによる回答を促進するための手段を検討する。
- ・ 外国人に対しては、国勢調査の必要性やオンライン回答方法についてのリーフレット等を活用し、調査への参加を促すことを検討する。
- ・ 若年層及び0歳児については、特に把握漏れの可能性が高いため、これらの層に対する対応を検討する。
- ・ 施設等世帯に居住する世帯員及び通学や出稼ぎ・単身赴任などで自宅を長期に不在にしている世帯員、並びに複数の住所がある世帯員については、「常住地」の定義を理解し、正しく回答できるよう、調査員への指導を徹底するとともに、世帯に配布する調査用品で分かりやすく説明するなど工夫を検討する。

6 調査結果

(1) 世帯の種類別本体調査時点の住民登録地

本体調査時点（平成27年10月1日時点）の住民登録地の割合を全国でみると、「10月1日時点の常住地と同じ住所」が97.03%、「それ以外の住所」が2.97%となっており、常住地と同じ住所に住民登録している割合が高い。

世帯の種類別にみると、全体の多くを占める「一般世帯」では、「10月1日時点の常住地と同じ住所」が97.90%、「それ以外の住所」が2.10%となっている。また、寮・寄宿舎、病院・療養所、社会施設等の「施設等の世帯」では、「10月1日時点の常住地と同じ住所」が36.65%、「それ以外の住所」が63.35%と、常住地以外の住所に住民登録をしている割合が約6割を占めている。これは、自宅に住民票の住所を残したまま、施設等の世帯に常住する者が多くいたためと推察される。（図1、表2）

図1 世帯の種類別本体調査時点の住民登録地の割合

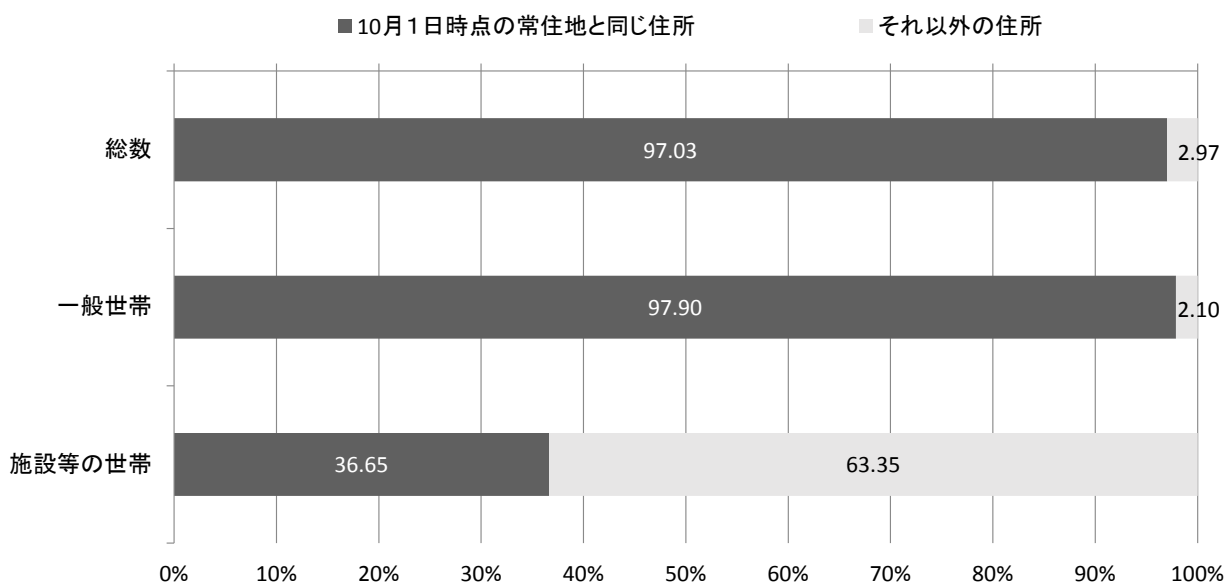


表2 世帯の種類別本体調査時点の住民登録地の割合

世帯の種類	(%)		
	総数	10月1日時点の常住地と同じ住所	それ以外の住所
総数	100.00	97.03	2.97
一般世帯	100.00	97.90	2.10
施設等の世帯	100.00	36.65	63.35
寮・寄宿舎の学生・生徒	100.00	83.55	16.45
病院・療養所の入院者	100.00	13.66	86.34
社会施設の入所者	100.00	40.21	59.79
その他	100.00	35.20	64.80

(2) 男女、年齢階級別本体調査時点の住民登録地

本体調査時点（平成27年10月1日時点）の住民登録地の割合を男女別でみると、男性では「10月1日時点の常住地と同じ住所」が97.01%、「それ以外の住所」が2.99%、女性では「10月1日時点の常住地と同じ住所」が97.04%、「それ以外の住所」が2.96%となっており、男女差はみられない。

年齢階級別にみると、「20～24歳」及び「25～29歳」の若年層並びに「85歳以上」の高齢層で常住地以外の住所に住民登録している割合が高い。これは、学生や若年者が常住地ではなく、いわゆる実家に住民登録している場合や高齢者が病院や施設に常住している場合があるためと推測される。（図2、表3）

図2 男女、年齢階級別本体調査時点の住民登録地の割合

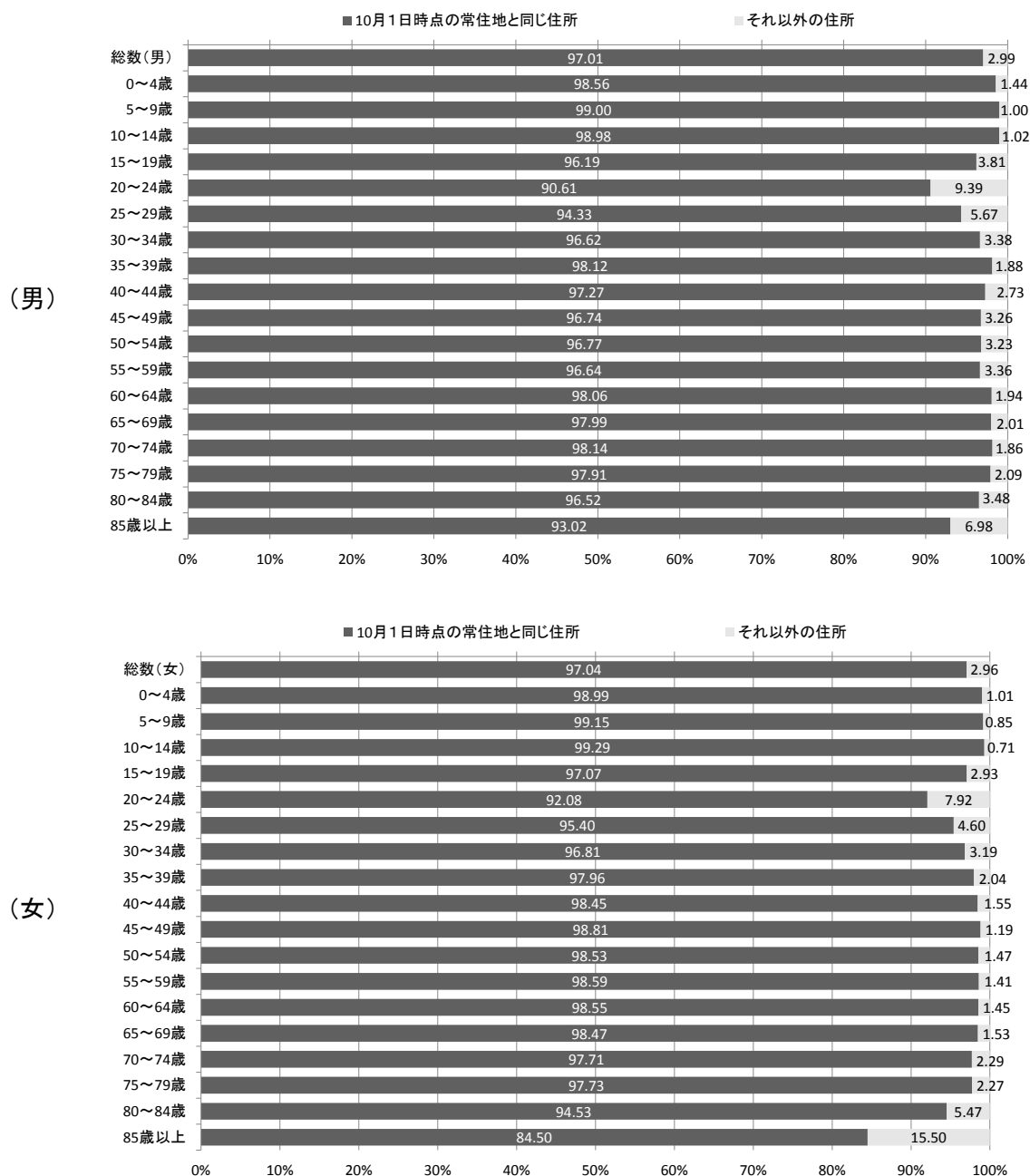


表3 男女、年齢階級別本体調査時点の住民登録地の割合

(%)

	総数	10月1日時点の常住地と 同じ住所	それ以外の住所
総数	100.00	97.03	2.97
0～4歳	100.00	98.77	1.23
5～9歳	100.00	99.07	0.93
10～14歳	100.00	99.13	0.87
15～19歳	100.00	96.63	3.37
20～24歳	100.00	91.36	8.64
25～29歳	100.00	94.88	5.12
30～34歳	100.00	96.72	3.28
35～39歳	100.00	98.04	1.96
40～44歳	100.00	97.87	2.13
45～49歳	100.00	97.78	2.22
50～54歳	100.00	97.66	2.34
55～59歳	100.00	97.65	2.35
60～64歳	100.00	98.31	1.69
65～69歳	100.00	98.24	1.76
70～74歳	100.00	97.91	2.09
75～79歳	100.00	97.81	2.19
80～84歳	100.00	95.34	4.66
85歳以上	100.00	87.08	12.92
年齢「不詳」	100.00	97.46	2.54
男	100.00	97.01	2.99
0～4歳	100.00	98.56	1.44
5～9歳	100.00	99.00	1.00
10～14歳	100.00	98.98	1.02
15～19歳	100.00	96.19	3.81
20～24歳	100.00	90.61	9.39
25～29歳	100.00	94.33	5.67
30～34歳	100.00	96.62	3.38
35～39歳	100.00	98.12	1.88
40～44歳	100.00	97.27	2.73
45～49歳	100.00	96.74	3.26
50～54歳	100.00	96.77	3.23
55～59歳	100.00	96.64	3.36
60～64歳	100.00	98.06	1.94
65～69歳	100.00	97.99	2.01
70～74歳	100.00	98.14	1.86
75～79歳	100.00	97.91	2.09
80～84歳	100.00	96.52	3.48
85歳以上	100.00	93.02	6.98
年齢「不詳」	100.00	97.41	2.59
女	100.00	97.04	2.96
0～4歳	100.00	98.99	1.01
5～9歳	100.00	99.15	0.85
10～14歳	100.00	99.29	0.71
15～19歳	100.00	97.07	2.93
20～24歳	100.00	92.08	7.92
25～29歳	100.00	95.40	4.60
30～34歳	100.00	96.81	3.19
35～39歳	100.00	97.96	2.04
40～44歳	100.00	98.45	1.55
45～49歳	100.00	98.81	1.19
50～54歳	100.00	98.53	1.47
55～59歳	100.00	98.59	1.41
60～64歳	100.00	98.55	1.45
65～69歳	100.00	98.47	1.53
70～74歳	100.00	97.71	2.29
75～79歳	100.00	97.73	2.27
80～84歳	100.00	94.53	5.47
85歳以上	100.00	84.50	15.50
年齢「不詳」	100.00	97.49	2.51

(3) 男女、年齢階級、本体調査調査票提出方法別回答者

男女、本体調査調査票提出方法別に回答者の割合をみると、男性では「インターネットで回答」が48.14%、「郵送で提出」が35.90%、「調査員に提出」が15.22%となっており、女性ではそれぞれ43.56%、39.68%、15.89%と、「インターネットで回答」した割合は男性がやや高い。

年齢階級別にみると、男性では60歳未満まで、女性では55歳未満までは「インターネットで回答」の割合が5割を占めている。60歳以上では男女いずれも「郵送で提出」又は「調査員に提出」の割合が高くなる傾向がみられる。特に高齢層では、「調査員に提出」の割合が高い。(図3、表4)

(注1) 回答者…世帯の中で実際に調査票を記入(入力)した世帯員をいう。

(注2) その他の方法で提出…市役所・町役場に直接持参した場合などをいう。

図3 男女、年齢階級、本体調査調査票提出方法別回答者の割合

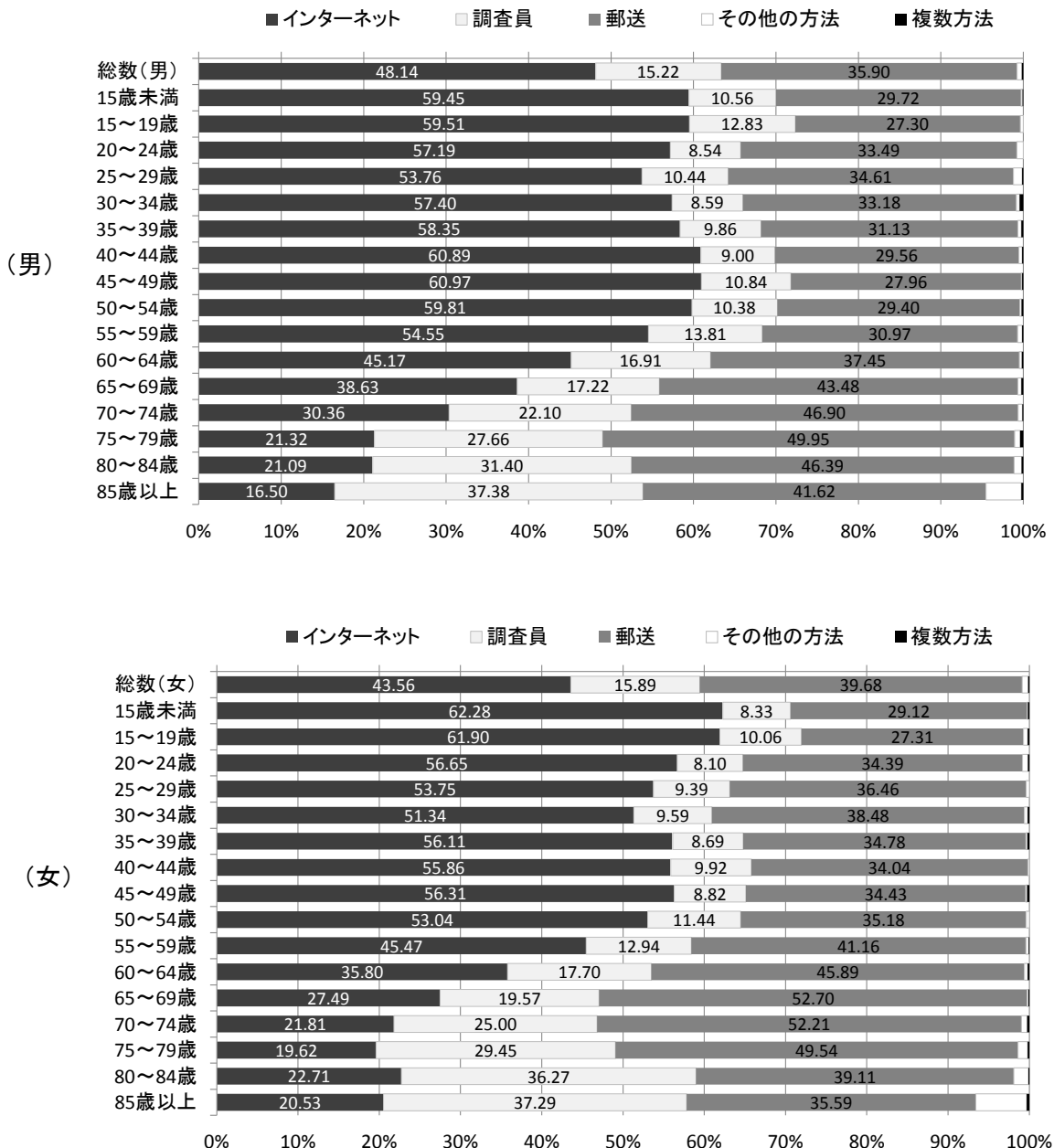


表4 男女、年齢階級、本体調査調査票提出方法別回答者の割合

(%)

男女、 年齢階級	総数	単一方法 で回答					複数方法 で回答
			インターネット で回答	調査員に提出	郵送 で提出	その他の方法 で提出	
総数	100.00	99.83	45.85	15.55	37.79	0.63	0.17
15歳未満	100.00	99.87	60.87	9.45	29.42	0.13	0.13
15～19歳	100.00	99.90	60.65	11.52	27.30	0.44	0.10
20～24歳	100.00	99.91	56.92	8.32	33.95	0.72	0.09
25～29歳	100.00	99.92	53.75	9.89	35.58	0.70	0.08
30～34歳	100.00	99.69	54.19	9.12	35.99	0.39	0.31
35～39歳	100.00	99.77	57.16	9.24	33.06	0.31	0.23
40～44歳	100.00	99.94	58.23	9.49	31.93	0.29	0.06
45～49歳	100.00	99.81	58.59	9.81	31.27	0.14	0.19
50～54歳	100.00	99.90	56.46	10.91	32.25	0.28	0.10
55～59歳	100.00	99.90	50.08	13.38	35.99	0.45	0.10
60～64歳	100.00	99.81	40.88	17.27	41.31	0.34	0.19
65～69歳	100.00	99.81	33.72	18.25	47.54	0.29	0.19
70～74歳	100.00	99.82	26.60	23.37	49.24	0.61	0.18
75～79歳	100.00	99.70	20.48	28.55	49.75	0.93	0.30
80～84歳	100.00	99.84	21.98	34.08	42.39	1.38	0.16
85歳以上	100.00	99.70	19.17	37.32	37.61	5.59	0.30
年齢「不詳」	100.00	100.00	24.69	20.94	51.06	3.30	0.00
男	100.00	99.82	48.14	15.22	35.90	0.55	0.18
15歳未満	100.00	99.92	59.45	10.56	29.72	0.18	0.08
15～19歳	100.00	100.00	59.51	12.83	27.30	0.36	0.00
20～24歳	100.00	100.00	57.19	8.54	33.49	0.77	0.00
25～29歳	100.00	99.84	53.76	10.44	34.61	1.03	0.16
30～34歳	100.00	99.56	57.40	8.59	33.18	0.39	0.44
35～39歳	100.00	99.76	58.35	9.86	31.13	0.42	0.24
40～44歳	100.00	99.86	60.89	9.00	29.56	0.41	0.14
45～49歳	100.00	99.86	60.97	10.84	27.96	0.10	0.14
50～54歳	100.00	99.80	59.81	10.38	29.40	0.21	0.20
55～59歳	100.00	99.87	54.55	13.81	30.97	0.54	0.13
60～64歳	100.00	99.82	45.17	16.91	37.45	0.29	0.18
65～69歳	100.00	99.75	38.63	17.22	43.48	0.42	0.25
70～74歳	100.00	99.87	30.36	22.10	46.90	0.51	0.13
75～79歳	100.00	99.61	21.32	27.66	49.95	0.67	0.39
80～84歳	100.00	99.79	21.09	31.40	46.39	0.90	0.21
85歳以上	100.00	99.76	16.50	37.38	41.62	4.27	0.24
年齢「不詳」	100.00	100.00	28.59	20.25	46.57	4.59	0.00
女	100.00	99.85	43.56	15.89	39.68	0.72	0.15
15歳未満	100.00	99.83	62.28	8.33	29.12	0.09	0.17
15～19歳	100.00	99.80	61.90	10.06	27.31	0.52	0.20
20～24歳	100.00	99.82	56.65	8.10	34.39	0.68	0.18
25～29歳	100.00	100.00	53.75	9.39	36.46	0.40	0.00
30～34歳	100.00	99.80	51.34	9.59	38.48	0.39	0.20
35～39歳	100.00	99.78	56.11	8.69	34.78	0.21	0.22
40～44歳	100.00	100.00	55.86	9.92	34.04	0.18	0.00
45～49歳	100.00	99.75	56.31	8.82	34.43	0.19	0.25
50～54歳	100.00	100.00	53.04	11.44	35.18	0.34	0.00
55～59歳	100.00	99.93	45.47	12.94	41.16	0.35	0.07
60～64歳	100.00	99.79	35.80	17.70	45.89	0.40	0.21
65～69歳	100.00	99.88	27.49	19.57	52.70	0.13	0.12
70～74歳	100.00	99.75	21.81	25.00	52.21	0.73	0.25
75～79歳	100.00	99.80	19.62	29.45	49.54	1.19	0.20
80～84歳	100.00	99.88	22.71	36.27	39.11	1.78	0.12
85歳以上	100.00	99.66	20.53	37.29	35.59	6.25	0.34
年齢「不詳」	100.00	100.00	21.40	21.53	54.86	2.21	0.00

(4) 男女、労働力状態、本体調査調査票提出方法別回答者

男女、労働力状態、本体調査調査票提出方法別に回答者の割合をみると、男性では「インターネットで回答」した者のうち「就業者」が72.79%、家事、通学、高齢などの「非労働力人口」が25.10%、女性では、「就業者」が58.38%、「非労働力人口」が39.96%となっており、女性が男性と比べて「非労働力人口」の割合が高くなっている。「調査員に提出」した者については、男性では「就業者」が57.20%、「非労働力人口」が38.63%、女性ではそれぞれ42.02%、55.78%と、男女とも「インターネットで回答」と比較して、「非労働力人口」による回答が多い傾向がみられる。これは、日中自宅にいる時間の長い高齢者や家事従事者が「調査員に提出」を選択したためと推測される。(図4、表5)

図4 男女、労働力状態、本体調査調査票提出方法別回答者の割合

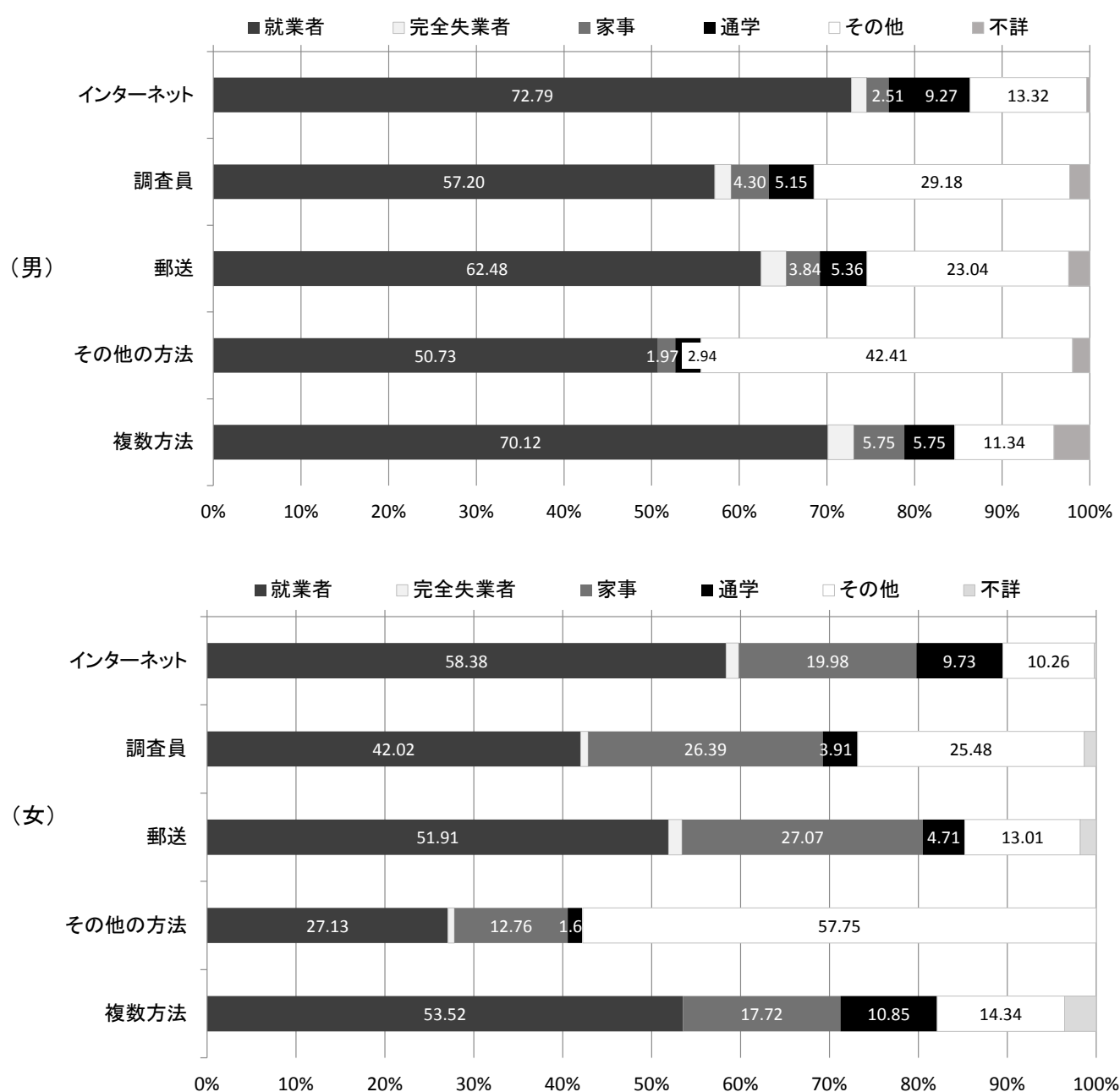


表5 男女、労働力状態、本体調査調査票提出方法別回答者の割合

								(%)
男女、労働力状態	総数	単一方法 で回答	インターネット で回答	調査員に提出	郵送 で提出	その他の方法 で提出	複数方法 で回答	
総数								
総数	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	
労働力人口	61.55	61.55	67.54	50.80	59.10	37.77	64.33	
就業者	59.79	59.78	65.95	49.45	56.93	37.39	62.70	
主に仕事	46.68	46.68	52.68	36.81	43.71	31.05	49.89	
家事のほか仕事	10.42	10.42	11.04	9.62	10.12	3.30	12.80	
通学のかたわら仕事	0.88	0.88	1.11	0.31	0.84	1.31	0.00	
休業者	1.80	1.80	1.12	2.70	2.27	1.73	0.00	
完全失業者	1.76	1.77	1.60	1.35	2.16	0.38	1.64	
非労働力人口	37.23	37.24	32.16	47.39	38.82	61.38	31.82	
家事	13.51	13.51	10.80	15.58	16.03	8.07	11.11	
通学	6.98	6.98	9.49	4.52	5.02	2.23	8.03	
その他	16.75	16.75	11.86	27.29	17.78	51.08	12.69	
労働力状態「不詳」	1.22	1.21	0.30	1.81	2.08	0.85	3.84	
男								
総数	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	
労働力人口	68.75	68.75	74.54	59.07	65.35	50.73	73.08	
就業者	66.59	66.58	72.79	57.20	62.48	50.73	70.12	
主に仕事	61.31	61.29	68.74	49.65	56.46	46.76	70.12	
家事のほか仕事	2.23	2.24	1.84	3.79	2.14	0.00	0.00	
通学のかたわら仕事	0.90	0.90	1.14	0.07	0.92	0.98	0.00	
休業者	2.15	2.16	1.07	3.69	2.96	2.98	0.00	
完全失業者	2.16	2.16	1.75	1.87	2.87	0.00	2.96	
非労働力人口	29.84	29.85	25.10	38.63	32.24	47.32	22.85	
家事	3.26	3.26	2.51	4.30	3.84	1.97	5.75	
通学	7.20	7.20	9.27	5.15	5.36	2.94	5.75	
その他	19.38	19.39	13.32	29.18	23.04	42.41	11.34	
労働力状態「不詳」	1.41	1.40	0.36	2.30	2.41	1.96	4.07	
女								
総数	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	
労働力人口	54.35	54.35	59.80	42.87	53.44	27.81	53.52	
就業者	52.98	52.98	58.38	42.02	51.91	27.13	53.52	
主に仕事	32.05	32.06	34.93	24.51	32.16	18.96	24.89	
家事のほか仕事	18.62	18.60	21.20	15.20	17.34	5.84	28.63	
通学のかたわら仕事	0.87	0.87	1.07	0.55	0.77	1.56	0.00	
休業者	1.45	1.45	1.17	1.76	1.64	0.77	0.00	
完全失業者	1.37	1.37	1.43	0.85	1.52	0.68	0.00	
非労働力人口	44.63	44.63	39.96	55.78	44.79	72.19	42.92	
家事	23.76	23.76	19.98	26.39	27.07	12.76	17.72	
通学	6.76	6.75	9.73	3.91	4.71	1.69	10.85	
その他	14.12	14.12	10.26	25.48	13.01	57.75	14.34	
労働力状態「不詳」	1.03	1.02	0.23	1.35	1.78	0.00	3.56	

(5) 外国人のいる世帯，本体調査調査票提出方法別世帯数

一般世帯及びそのうち外国人のいる世帯について，本体調査調査票提出方法別に世帯数の割合をみると，一般世帯では「インターネットで回答」が42.90%，「調査員に提出」が15.86%，「郵送で提出」が40.29%となっているが，外国人のみの世帯ではそれぞれ21.68%，20.64%，55.39%，外国人と日本人がいる世帯ではそれぞれ39.99%，15.87%，43.15%となっており，日本人がいないほど「インターネットで回答」の割合が低くなり，「調査員に提出」の割合が高い傾向にある。ここから，外国人に対しては，調査書類の配布だけでは国勢調査の回答についての十分な理解が得難く，オンライン回答期間内に回答が得られない状況，又は英語のオンライン調査票のみでは言語対応が不十分である可能性が推察される。(図5，表6)

※ 世帯単位の集計のため，回答者単位の集計とは調査票提出方法別割合が一致しない。

図5 外国人のいる世帯，本体調査調査票提出方法別世帯数の割合

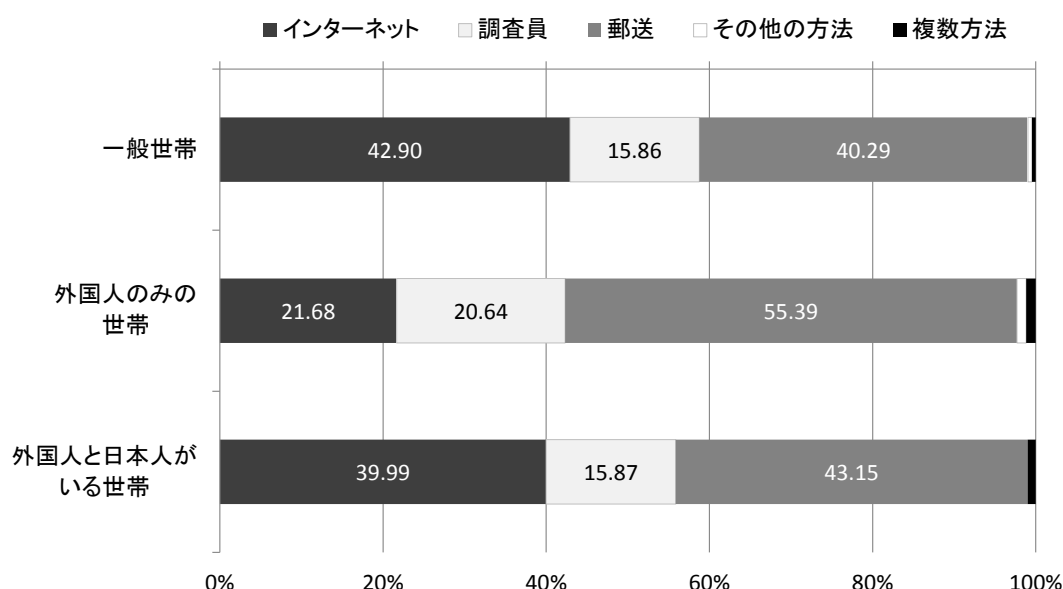


表6 外国人のいる世帯，本体調査調査票提出方法別世帯数の割合

	総数	単一方法 で回答					(%)
			インターネット で回答	調査員 に提出	郵送で提出	その他の方法で 提出	複数方法 で回答
一般世帯 (再掲)	100.00	99.53	42.90	15.86	40.29	0.49	0.47
外国人のみの世帯	100.00	98.84	21.68	20.64	55.39	1.14	1.16
外国人と日本人がいる世帯	100.00	99.01	39.99	15.87	43.15	0.00	0.99

(6) 世帯の種類別本体調査における把握状況

事後調査結果と本体調査結果の照合結果から、本体調査における把握状況をみると、「本体調査で把握された」世帯員の割合は99.24%、「本体調査で把握されなかった」世帯員の割合は0.76%となっている。「本体調査で把握された」世帯員の内訳は、国勢調査の定義のとおり「常住地の1か所で把握された」世帯員の割合が98.03%、「複数箇所では把握された」世帯員の割合が1.03%、「常住地以外の1か所で把握された」世帯員の割合が0.18%となっている。

世帯の種類別にみると、一般世帯では「本体調査で把握された」世帯員の割合は99.32%、「本体調査で把握されなかった」世帯員の割合は0.68%であるのに対し、施設等の世帯では「本体調査で把握された」世帯員の割合は94.20%、「本体調査で把握されなかった」世帯員の割合は5.80%となっており、施設等の世帯で「本体調査で把握されなかった」世帯員の割合が高くなっている。また、一般世帯では「複数箇所では把握された」世帯員の割合が1.05%、「常住地以外の1か所で把握された」世帯員の割合が0.17%であるのに対し、施設等の世帯ではそれぞれ0.02%、0.53%と、施設等の世帯で「常住地以外の1か所で把握された」世帯員の割合が高くなっている。これは、施設等の世帯において、事後調査時点と本体調査時点の間に世帯員の移動が発生し、調査結果が照合しなかったこと、また、特に施設等の世帯に居住する者について「当該住居に3か月以上にわたって住んでいるか、又は住むことになっている」とする「常住」の定義が、十分に理解を得られていない可能性があることが考えられる。(表7)

※ 照合作業は、原則、世帯及び世帯員が居住する調査区内を対象とし、9欄「平成27年9月10日から10月20日までの間に常住地以外で寝泊まりした場所」の住所記入欄に記入のある世帯員のみを対象に追跡照合を行っているが、集計上の判断により、追跡先対象地域は当該住所に該当する調査区数が50以内の場合に限って探索を行っているため、全ての世帯員を網羅的に照合しているわけではないことに留意が必要である。

表7 世帯の種類別世帯員の本体調査における把握状況

	(%)						[参考] 対象人員数 (人)
	総数	本体調査で 把握された	常住地の 1か所で 把握された	複数箇所 で把握された	常住地以外 の1か所 で把握された	本体調査で 把握され なかった	
総数	100.00	99.24	98.03	1.03	0.18	0.76	117,115,143
一般世帯	100.00	99.32	98.10	1.05	0.17	0.68	115,398,132
施設等の世帯	100.00	94.20	93.64	0.02	0.53	5.80	1,717,011
学校の寮・寄宿舎の学生・生徒	100.00	100.00	100.00	0.00	0.00	0.00	90,156
病院・療養所の入院者	100.00	92.99	92.11	0.00	0.88	7.01	314,347
老人ホーム等の社会施設の入所者	100.00	94.04	93.52	0.03	0.49	5.96	1,301,781
その他	100.00	100.00	100.00	0.00	0.00	0.00	10,727

(7) 本体調査を受けたか否か別本体調査における把握状況

本体調査を受けたか否かの回答別に本体調査における把握状況をみると、「国勢調査を受けたとする」世帯員は、「本体調査で把握された」世帯員の割合は99.16%、「本体調査で把握されなかった」世帯員の割合は0.84%、「国勢調査を受けたかわからないとする」世帯員の割合はそれぞれ98.97%、1.03%、「国勢調査を受けなかったとする」世帯員の割合はそれぞれ99.11%、0.89%となっており、本体調査を受けたか否かによる違いはほとんどみられない。これは、聞き取り調査の実施により、世帯が十分に捕捉されていることが考えられる。(表8)

表 8 本体調査を受けたか否か別世帯員の本体調査における把握状況

	総数	(%)				本体調査で把握されなかった	[参考] 対象人員数 (人)
		本体調査で把握された	常住地の1か所で把握された	複数箇所 で把握された	常住地以外の1か所で把握された		
総数	100.00	99.24	98.03	1.03	0.18	0.76	117,115,143
国勢調査を受けたとする人	100.00	99.16	97.77	1.20	0.19	0.84	100,414,843
国勢調査を受けたかわからないとする人	100.00	98.97	98.29	0.22	0.47	1.03	1,403,112
国勢調査を受けなかったとする人	100.00	99.11	98.77	0.01	0.33	0.89	2,968,921
国勢調査を受けたか否か「不詳」	100.00	99.99	99.94	0.02	0.02	0.01	12,328,267

(8) 男女、年齢階級別本体調査における把握状況

男女別に本体調査における把握状況をみると、男性は「本体調査で把握された」世帯員の割合は99.34%、「本体調査で把握されなかった」世帯員の割合は0.66%となっている。「本体調査で把握された」世帯員の内訳は、「常住地の1か所で把握された」世帯員の割合が98.03%、「複数箇所
で把握された」世帯員の割合が1.09%、「常住地以外の1か所で把握された」世帯員の割合が0.23%となっている。女性は「本体調査で把握された」世帯員の割合は99.15%、「本体調査で把握されなかった」世帯員の割合は0.85%、「常住地の1か所で把握された」世帯員の割合が98.04%、「複数箇所
で把握された」世帯員の割合が0.98%、「常住地以外の1か所で把握された」世帯員の割合が0.13%となっており、男女差はみられない。

年齢階級別にみると、「本体調査で把握されなかった」世帯員の割合は、「85歳以上」が2.70%と最も高く、次いで「20～24歳」が2.09%、「0歳」が1.92%、「25～29歳」が1.32%となっている。「複数箇所
で把握された」世帯員の割合は、「50～54歳」が1.75%と最も高く、次いで「55～59歳」が1.68%、「45～49歳」が1.52%、「20～24歳」が1.45%となっている。「常住地以外の1か所で把握された」世帯員の割合は、「0歳」が0.74%と最も高く、次いで「25～29歳」が0.5%、「20～24歳」が0.38%となっている。

男女年齢階級別に見ると、「本体調査で把握されなかった」世帯員の割合は、高齢者の多い女性で特に「85歳以上」が高く、これは施設等の世帯の居住者が多く含まれるためと考えられる。また「20～24歳」及び「0歳」は男女共に高い傾向があり、これは若年層の調査漏れ及び生まれたばかりの0歳時の調査漏れが発生している可能性が考えられる。「複数箇所
で把握された」世帯員の割合は、男性で特に40～50歳代で、女性では「15～19歳」が高く、これは本体調査前後に常住地以外に寝泊まりした場所のある割合が高いことが要因と考えられる。(図6, 7, 8, 表9)

図6 男女、年齢階級別「本体調査で把握されなかった」世帯員の割合

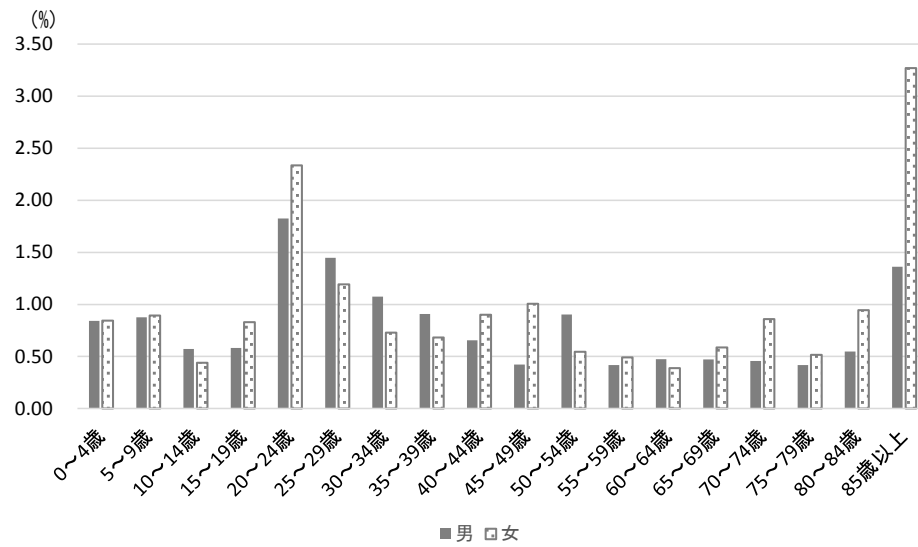


図7 男女、年齢階級別「複数箇所では把握された」世帯員の割合

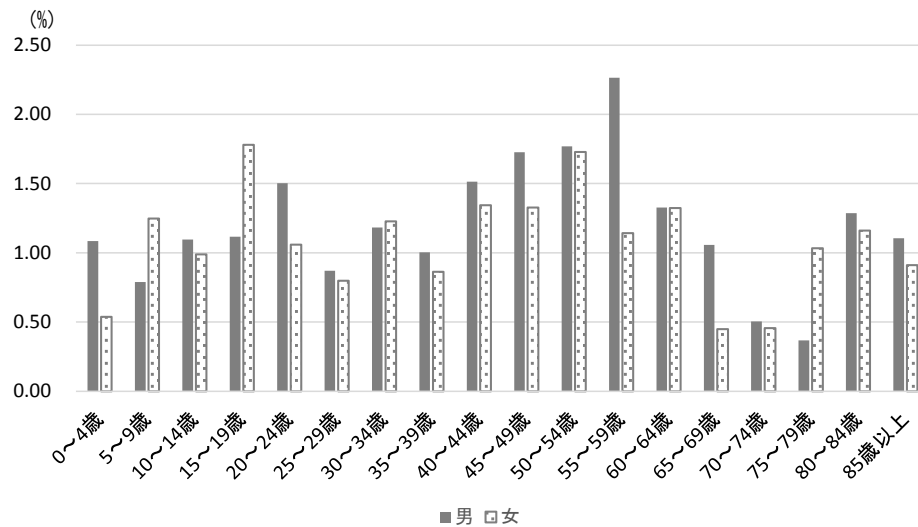


図8 男女、年齢階級別「常住地以外の1か所で把握された」世帯員の割合

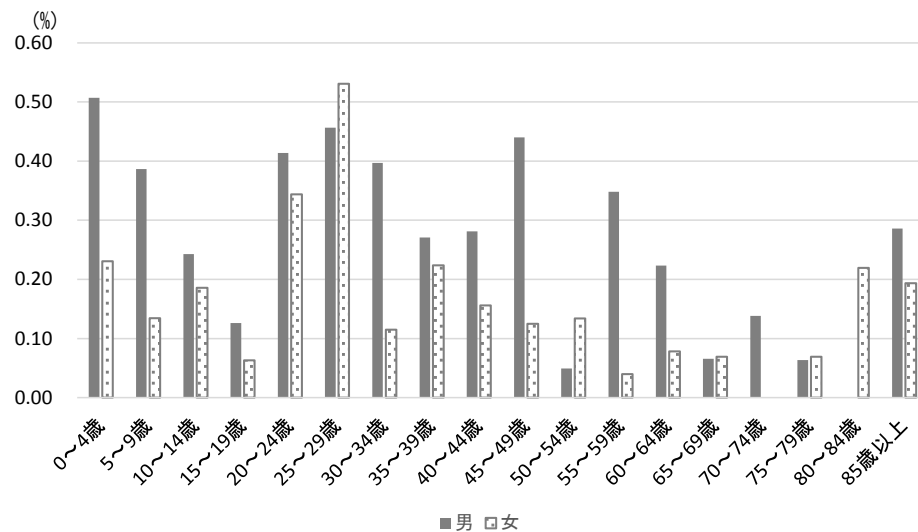


表9 男女、年齢階級別世帯員の本体調査における把握状況

	(%)						[参考] 対象人員数 (人)
	総数	本体調査で 把握された	常住地の 1 か所で 把握された	複数箇所 で把握された	常住地以外の 1 か所で 把握された	本体調査で 把握され なかった	
総数	100.00	99.24	98.03	1.03	0.18	0.76	117,115,143
0～4歳	100.00	99.16	97.98	0.81	0.37	0.84	3,949,238
0歳	100.00	98.08	97.34	0.00	0.74	1.92	709,516
1～4歳	100.00	99.39	98.12	0.99	0.29	0.61	3,239,722
5～9歳	100.00	99.12	97.84	1.01	0.26	0.88	4,507,312
10～14歳	100.00	99.49	98.24	1.04	0.21	0.51	4,958,691
15～19歳	100.00	99.29	97.75	1.45	0.09	0.71	4,952,582
20～24歳	100.00	97.91	96.26	1.27	0.38	2.09	4,268,107
25～29歳	100.00	98.68	97.36	0.83	0.50	1.32	4,453,582
30～34歳	100.00	99.10	97.64	1.20	0.25	0.90	5,457,600
35～39歳	100.00	99.20	98.02	0.93	0.25	0.80	6,760,535
40～44歳	100.00	99.22	97.57	1.43	0.22	0.78	7,860,066
45～49歳	100.00	99.28	97.48	1.52	0.28	0.72	7,262,240
50～54歳	100.00	99.28	97.44	1.75	0.09	0.72	6,786,409
55～59歳	100.00	99.54	97.68	1.68	0.19	0.46	6,684,547
60～64歳	100.00	99.57	98.10	1.32	0.15	0.43	7,692,303
65～69歳	100.00	99.47	98.66	0.75	0.07	0.53	8,746,505
70～74歳	100.00	99.33	98.79	0.48	0.07	0.67	6,906,789
75～79歳	100.00	99.53	98.72	0.74	0.07	0.47	5,480,542
80～84歳	100.00	99.22	97.88	1.21	0.13	0.78	4,245,495
85歳以上	100.00	97.30	96.11	0.97	0.22	2.70	4,129,089
年齢「不詳」	100.00	99.89	99.86	0.00	0.02	0.11	12,013,509
男	100.00	99.34	98.03	1.09	0.23	0.66	56,836,115
0～4歳	100.00	99.16	97.57	1.08	0.51	0.84	1,973,197
0歳	100.00	98.28	97.19	0.00	1.08	1.72	354,207
1～4歳	100.00	99.35	97.65	1.32	0.38	0.65	1,618,990
5～9歳	100.00	99.12	97.95	0.79	0.39	0.88	2,286,604
10～14歳	100.00	99.43	98.09	1.10	0.24	0.57	2,514,081
15～19歳	100.00	99.42	98.17	1.12	0.13	0.58	2,482,098
20～24歳	100.00	98.17	96.26	1.50	0.41	1.83	2,072,951
25～29歳	100.00	98.55	97.23	0.87	0.46	1.45	2,141,020
30～34歳	100.00	98.93	97.35	1.18	0.40	1.07	2,702,800
35～39歳	100.00	99.09	97.82	1.00	0.27	0.91	3,376,166
40～44歳	100.00	99.35	97.55	1.51	0.28	0.65	3,913,835
45～49歳	100.00	99.58	97.41	1.73	0.44	0.42	3,603,521
50～54歳	100.00	99.10	97.28	1.77	0.05	0.90	3,363,968
55～59歳	100.00	99.58	96.97	2.26	0.35	0.42	3,205,061
60～64歳	100.00	99.53	97.98	1.33	0.22	0.47	3,703,001
65～69歳	100.00	99.53	98.41	1.06	0.07	0.47	4,264,763
70～74歳	100.00	99.54	98.90	0.50	0.14	0.46	3,313,843
75～79歳	100.00	99.58	99.15	0.37	0.06	0.42	2,426,424
80～84歳	100.00	99.45	98.17	1.29	0.00	0.55	1,725,820
85歳以上	100.00	98.64	97.25	1.11	0.29	1.36	1,234,190
年齢「不詳」	100.00	99.93	99.89	0.00	0.05	0.07	6,532,771
女	100.00	99.15	98.04	0.98	0.13	0.85	60,279,028
0～4歳	100.00	99.15	98.39	0.54	0.23	0.85	1,976,042
0歳	100.00	97.88	97.48	0.00	0.41	2.12	355,310
1～4歳	100.00	99.43	98.59	0.66	0.19	0.57	1,620,732
5～9歳	100.00	99.11	97.72	1.25	0.13	0.89	2,220,709
10～14歳	100.00	99.56	98.39	0.99	0.19	0.44	2,444,610
15～19歳	100.00	99.17	97.33	1.78	0.06	0.83	2,470,485
20～24歳	100.00	97.66	96.26	1.06	0.34	2.34	2,195,156
25～29歳	100.00	98.81	97.48	0.80	0.53	1.19	2,312,561
30～34歳	100.00	99.27	97.93	1.23	0.11	0.73	2,754,800
35～39歳	100.00	99.32	98.23	0.86	0.22	0.68	3,384,369
40～44歳	100.00	99.10	97.60	1.34	0.16	0.90	3,946,231
45～49歳	100.00	98.99	97.54	1.33	0.12	1.01	3,658,719
50～54歳	100.00	99.45	97.59	1.73	0.13	0.55	3,422,441
55～59歳	100.00	99.51	98.33	1.14	0.04	0.49	3,479,486
60～64歳	100.00	99.61	98.21	1.32	0.08	0.39	3,989,301
65～69歳	100.00	99.41	98.90	0.45	0.07	0.59	4,481,743
70～74歳	100.00	99.14	98.68	0.46	0.00	0.86	3,592,946
75～79歳	100.00	99.48	98.38	1.03	0.07	0.52	3,054,116
80～84歳	100.00	99.05	97.68	1.16	0.22	0.95	2,519,674
85歳以上	100.00	96.73	95.63	0.91	0.19	3.27	2,894,900
年齢「不詳」	100.00	99.84	99.84	0.00	0.00	0.16	5,480,738

(9) 配偶関係別本体調査における把握状況

配偶関係別に本体調査における把握状況をみると、未婚は「本体調査で把握された」世帯員の割合は98.94%、「本体調査で把握されなかった」世帯員の割合は1.06%となっている。

「本体調査で把握された」世帯員の内訳は、「常住地の1か所で把握された」世帯員の割合が97.59%、「複数箇所では把握された」世帯員の割合が1.09%、「常住地以外の1か所で把握された」世帯員の割合が0.26%となっている。有配偶は「本体調査で把握された」世帯員の割合は99.50%、「本体調査で把握されなかった」世帯員の割合は0.5%となっている。「本体調査で把握された」世帯員の内訳は、「常住地の1か所で把握された」世帯員の割合が98.13%、「複数箇所では把握された」世帯員の割合が1.21%、「常住地以外の1か所で把握された」世帯員の割合が0.16%となっており、未婚の方が有配偶より「本体調査で把握されなかった」世帯員の割合が高くなっている。死別及び離別は、共に「本体調査で把握された」世帯員の割合が98.39%、「本体調査で把握されなかった」世帯員の割合が1.61%と、「本体調査で把握されなかった」世帯員の割合がやや高い傾向がみられる。(表10)

表10 男女、配偶関係別世帯員の本体調査における把握状況

	総数	(%)				本体調査で把握されなかった	[参考] 対象人員数 (人)
		本体調査で把握された	常住地の1か所で把握された	複数箇所では把握された	常住地以外の1か所で把握された		
総数	100.00	99.24	98.03	1.03	0.18	0.76	117,115,142
未婚	100.00	98.94	97.59	1.09	0.26	1.06	36,232,159
有配偶	100.00	99.50	98.13	1.21	0.16	0.50	56,656,516
死別	100.00	98.39	97.38	0.85	0.16	1.61	8,197,654
離別	100.00	98.39	97.04	1.11	0.24	1.61	4,441,460
不詳	100.00	99.85	99.77	0.09	0.00	0.15	11,587,353
男	100.00	99.34	98.03	1.09	0.23	0.66	56,836,115
未婚	100.00	98.99	97.54	1.13	0.32	1.01	19,188,983
有配偶	100.00	99.55	98.05	1.29	0.21	0.45	28,161,245
死別	100.00	98.66	97.77	0.66	0.22	1.34	1,371,408
離別	100.00	98.34	96.23	1.74	0.37	1.66	1,674,772
不詳	100.00	99.90	99.88	0.02	0.00	0.10	6,439,705
女	100.00	99.15	98.04	0.98	0.13	0.85	60,279,029
未婚	100.00	98.89	97.65	1.05	0.20	1.11	17,043,176
有配偶	100.00	99.45	98.21	1.12	0.11	0.55	28,495,271
死別	100.00	98.33	97.30	0.89	0.15	1.67	6,826,245
離別	100.00	98.42	97.52	0.73	0.17	1.58	2,766,689
不詳	100.00	99.79	99.62	0.17	0.00	0.21	5,147,648

(10) 世帯主との続き柄別本体調査における把握状況

世帯主との続き柄別に本体調査における把握状況をみると、「世帯主又は代表者」は「本体調査で把握された」世帯員の割合は99.41%、「本体調査で把握されなかった」世帯員の割合は0.59%となっている。「本体調査で把握された」世帯員の内訳は、「常住地の1か所で把握された」世帯員の割合が98.2%、「複数箇所では把握された」世帯員の割合が1.01%、「常住地以外の1か所で把握された」世帯員の割合が0.21%となっている。「子」は「本体調査で把握された」世帯員の割合は99.09%、「本体調査で把握されなかった」世帯員の割合は0.91%、「常住地の1か所で把握された」世帯員の割合が97.77%、「複数箇所では把握された」世帯員の割合が1.11%、「常住地以外の1か所で把握された」世帯員の割合が0.20%となっている。

「本体調査で把握されなかった」世帯員の割合は、男性の「世帯主の配偶者」及び女性の「祖父母」で特に高くなっている。(表11)

表11 男女、世帯主との続き柄別世帯員の本体調査における把握状況

	総数	(%)				本体調査で把握されなかった	[参考] 対象人員数 (人)
		本体調査で把握された	常住地の1か所で把握された	複数箇所 で把握された	常住地以外の1か所で把握された		
総数	100.00	99.24	98.03	1.03	0.18	0.76	117,115,143
世帯主又は代表者	100.00	99.41	98.20	1.01	0.21	0.59	47,988,824
世帯主の配偶者	100.00	99.49	98.28	1.11	0.09	0.51	25,661,546
子	100.00	99.09	97.77	1.11	0.20	0.91	29,305,563
子の配偶者	100.00	99.75	98.61	1.14	0.00	0.25	1,198,615
世帯主の父母	100.00	98.86	97.12	1.51	0.23	1.14	2,737,381
世帯主の配偶者の父母	100.00	98.28	95.69	2.37	0.22	1.72	720,375
孫	100.00	98.85	97.48	1.25	0.13	1.15	2,440,842
祖父母	100.00	93.55	90.27	0.00	3.28	6.45	47,586
兄弟姉妹	100.00	98.01	97.26	0.50	0.25	1.99	616,718
他の親族	100.00	99.20	97.62	1.58	0.00	0.80	189,751
住み込みの雇人	100.00	100.00	100.00	0.00	0.00	0.00	6,198
その他	100.00	93.98	93.25	0.11	0.62	6.02	1,883,159
不詳	100.00	99.96	99.93	0.00	0.04	0.04	4,318,587
男	100.00	99.34	98.03	1.09	0.23	0.66	56,836,115
世帯主又は代表者	100.00	99.52	98.20	1.11	0.21	0.48	36,941,811
世帯主の配偶者	100.00	96.49	96.49	0.00	0.00	3.51	220,247
子	100.00	99.10	97.73	1.11	0.26	0.90	15,339,883
子の配偶者	100.00	99.47	99.47	0.00	0.00	0.53	265,979
世帯主の父母	100.00	98.62	96.29	2.33	0.00	1.38	457,913
世帯主の配偶者の父母	100.00	98.59	94.68	3.90	0.00	1.41	117,960
孫	100.00	99.24	97.35	1.64	0.25	0.76	1,221,030
祖父母	100.00	100.00	100.00	0.00	0.00	0.00	4,713
兄弟姉妹	100.00	98.25	97.07	1.19	0.00	1.75	258,924
他の親族	100.00	97.91	95.79	2.12	0.00	2.09	72,844
住み込みの雇人	100.00	100.00	100.00	0.00	0.00	0.00	3,095
その他	100.00	96.02	94.99	0.00	1.03	3.98	576,385
不詳	100.00	100.00	99.89	0.00	0.11	0.00	1,355,330
女	100.00	99.15	98.04	0.98	0.13	0.85	60,279,028
世帯主又は代表者	100.00	99.07	98.20	0.69	0.18	0.93	11,047,013
世帯主の配偶者	100.00	99.51	98.30	1.12	0.09	0.49	25,441,299
子	100.00	99.08	97.83	1.12	0.14	0.92	13,965,680
子の配偶者	100.00	99.83	98.36	1.47	0.00	0.17	932,634
世帯主の父母	100.00	98.91	97.29	1.35	0.27	1.09	2,279,468
世帯主の配偶者の父母	100.00	98.22	95.89	2.07	0.26	1.78	602,415
孫	100.00	98.47	97.62	0.85	0.00	1.53	1,219,812
祖父母	100.00	92.84	89.20	0.00	3.64	7.16	42,873
兄弟姉妹	100.00	97.84	97.40	0.00	0.44	2.16	357,793
他の親族	100.00	100.00	98.76	1.24	0.00	0.00	116,907
住み込みの雇人	100.00	100.00	100.00	0.00	0.00	0.00	3,103
その他	100.00	93.08	92.49	0.15	0.44	6.92	1,306,774
不詳	100.00	99.95	99.95	0.00	0.00	0.05	2,963,257

(11) 外国人の本体調査における把握状況

国籍が「外国」である世帯員の本体調査における把握状況をみると、「本体調査で把握された」世帯員の割合は96.98%、「本体調査で把握されなかった」世帯員の割合は3.02%となっている。「本体調査で把握された」世帯員の内訳は、「常住地の1か所で把握された」世帯員の割合が95.36%、「複数箇所
で把握された」世帯員の割合が0.99%、「常住地以外の1か所で把握された」世帯員の割合が0.62%となっており、国籍が「日本」である世帯員と比べて「本体調査で把握されなかった」世帯員の割合が高い傾向がみられる。(表12)

表12 男女別外国人世帯員の本体調査における把握状況

	(%)						[参考] 対象人員数 (人)
	総数	本体調査で 把握された	常住地の 1 か所で 把握された	複数箇所 で把握された	常住地以外の 1 か所で 把握された	本体調査で 把握され なかった	
総数	100.00	99.24	98.03	1.03	0.18	0.76	117,115,143
日本	100.00	99.23	97.97	1.08	0.18	0.77	111,210,724
外国	100.00	96.98	95.36	0.99	0.62	3.02	972,157
15歳未満	100.00	100.00	100.00	0.00	0.00	0.00	57,412
15～29歳	100.00	92.75	91.32	0.00	1.43	7.25	215,021
30～44歳	100.00	97.81	95.06	2.21	0.55	2.19	278,279
45～59歳	100.00	98.35	95.80	1.73	0.82	1.65	178,623
60～74歳	100.00	95.13	95.13	0.00	0.00	4.87	97,323
75歳以上	100.00	100.00	98.58	1.42	0.00	0.00	29,875
年齢「不詳」	100.00	100.00	100.00	0.00	0.00	0.00	115,624
国籍不詳	100.00	100.00	100.00	0.00	0.00	0.00	4,932,261
15歳未満	100.00	100.00	100.00	0.00	0.00	0.00	1,506
15～29歳	100.00	100.00	100.00	0.00	0.00	0.00	1,506
30～44歳	-	-	-	-	-	-	0
45～59歳	-	-	-	-	-	-	0
60～74歳	100.00	100.00	100.00	0.00	0.00	0.00	1,478
75歳以上	-	-	-	-	-	-	0
年齢「不詳」	100.00	100.00	100.00	0.00	0.00	0.00	4,927,771
男	100.00	99.34	98.03	1.09	0.23	0.66	56,836,115
日本	100.00	99.34	97.98	1.13	0.23	0.66	54,597,770
外国	100.00	97.11	95.70	0.36	1.05	2.89	431,495
15歳未満	100.00	100.00	100.00	0.00	0.00	0.00	31,020
15～29歳	100.00	95.22	93.66	0.00	1.56	4.78	97,732
30～44歳	100.00	96.17	93.64	1.27	1.26	3.83	121,335
45～59歳	100.00	97.24	94.65	0.00	2.59	2.76	56,825
60～74歳	100.00	96.62	96.62	0.00	0.00	3.38	46,813
75歳以上	100.00	100.00	100.00	0.00	0.00	0.00	12,881
年齢「不詳」	100.00	100.00	100.00	0.00	0.00	0.00	64,890
国籍不詳	100.00	100.00	100.00	0.00	0.00	0.00	1,806,849
15歳未満	-	-	-	-	-	-	0
15～29歳	-	-	-	-	-	-	0
30～44歳	-	-	-	-	-	-	0
45～59歳	-	-	-	-	-	-	0
60～74歳	-	-	-	-	-	-	0
75歳以上	-	-	-	-	-	-	0
年齢「不詳」	100.00	100.00	100.00	0.00	0.00	0.00	1,806,849
女	100.00	99.15	98.04	0.98	0.13	0.85	60,279,028
日本	100.00	99.12	97.96	1.02	0.14	0.88	56,612,955
外国	100.00	96.88	95.09	1.50	0.29	3.12	540,662
15歳未満	100.00	100.00	100.00	0.00	0.00	0.00	26,392
15～29歳	100.00	90.70	89.38	0.00	1.32	9.30	117,289
30～44歳	100.00	99.09	96.16	2.93	0.00	0.91	156,944
45～59歳	100.00	98.87	96.33	2.54	0.00	1.13	121,798
60～74歳	100.00	93.76	93.76	0.00	0.00	6.24	50,510
75歳以上	100.00	100.00	97.51	2.49	0.00	0.00	16,995
年齢「不詳」	100.00	100.00	100.00	0.00	0.00	0.00	50,734
国籍不詳	100.00	100.00	100.00	0.00	0.00	0.00	3,125,412
15歳未満	100.00	100.00	100.00	0.00	0.00	0.00	1,506
15～29歳	100.00	100.00	100.00	0.00	0.00	0.00	1,506
30～44歳	-	-	-	-	-	-	0
45～59歳	-	-	-	-	-	-	0
60～74歳	100.00	100.00	100.00	0.00	0.00	0.00	1,478
75歳以上	-	-	-	-	-	-	0
年齢「不詳」	100.00	100.00	100.00	0.00	0.00	0.00	3,120,922

(12) 住宅の建て方別本体調査における把握状況

一般世帯に住む世帯員について、住宅の建て方別に本体調査における把握状況をみると、一戸建の「本体調査で把握された」世帯員の割合は99.35%、「本体調査で把握されなかった」世帯員の割合は0.65%となっている。「本体調査で把握された」世帯員の内訳は、「常住地の1か所で把握された」世帯員の割合が98.07%、「複数箇所把握された」世帯員の割合

が1.18%、「常住地以外の1か所で把握された」世帯員の割合が0.1%となっている。共同住宅では「本体調査で把握された」世帯員の割合は99.23%、「本体調査で把握されなかった」世帯員の割合は0.77%、「常住地の1か所で把握された」世帯員の割合が98.18%、「複数箇所
で把握された」世帯員の割合が0.73%、「常住地以外の1か所で把握された」世帯員の割合が0.32%となっており、共同住宅の方がやや「本体調査で把握されなかった」世帯員の割合が高いが、それほど大きな差はみられない。(表13)

表13 住宅の建て方別世帯員の本体調査における把握状況

	総数	(%)					[参考] 対象人員数 (人)
		本体調査で 把握された	常住地の 1か所で 把握された	複数箇所 で把握された	常住地以外 の1か所 で把握された	本体調査で 把握され なかった	
総数（一般世帯）	100.00	99.32	98.10	1.05	0.17	0.68	115,398,132
一戸建	100.00	99.35	98.07	1.18	0.10	0.65	80,432,067
長屋建	100.00	99.38	98.39	0.27	0.72	0.62	1,728,641
共同住宅	100.00	99.23	98.18	0.73	0.32	0.77	33,183,619
オートロック	100.00	99.38	98.09	0.97	0.33	0.62	10,963,510
その他	100.00	99.15	98.21	0.62	0.31	0.85	22,015,340
その他	100.00	94.59	93.27	0.80	0.52	5.41	1,761,400

(13) 本体調査時点の住民登録地別本体調査における把握状況

本体調査時点の住民登録地別に本体調査における把握状況をみると、「常住地と同じ」住所に住民登録していた世帯員は「本体調査で把握された」世帯員の割合は99.24%、「本体調査で把握されなかった」世帯員の割合は0.76%となっている。「本体調査で把握された」世帯員の内訳は、「常住地の1か所で把握された」世帯員の割合が98.02%、「複数箇所
で把握された」世帯員の割合が1.13%、「常住地以外の1か所で把握された」世帯員の割合が0.09%となっている。「常住地と別」の住所に住民登録していた世帯員は「本体調査で把握された」世帯員の割合は97.15%、「本体調査で把握されなかった」世帯員の割合は2.85%となっている。「本体調査で把握された」世帯員の内訳は、「常住地の1か所で把握された」世帯員の割合が91.26%、「複数箇所
で把握された」世帯員の割合が1.78%、「常住地以外の1か所で把握された」世帯員の割合が4.12%となっており、「常住地と別」の住所に住民登録していた世帯員が「本体調査で把握されなかった」世帯員の割合及び「常住地以外の1か所で把握された」世帯員の割合が高い。これは、複数の住所がある世帯において、「常住地」の判断が困難と捉えられている可能性があることが考えられる。(表14)

表14 本体調査時点の住民登録地別世帯員の本体調査における把握状況

	総数	(%)					[参考] 対象人員数 (人)
		本体調査で 把握された	常住地の 1か所で 把握された	複数箇所 で把握された	常住地以外 の1か所 で把握された	本体調査で 把握され なかった	
総数	100.00	99.24	98.03	1.03	0.18	0.76	117,115,143
常住地と同じ	100.00	99.24	98.02	1.13	0.09	0.76	101,854,341
常住地と別	100.00	97.15	91.26	1.78	4.12	2.85	2,844,914
現在地以外の住所	100.00	96.81	93.61	0.59	2.61	3.19	2,536,130
その他	100.00	100.00	71.96	11.50	16.54	0.00	308,784
住民登録地「不詳」	100.00	99.72	99.69	0.02	0.00	0.28	12,415,887

(14) 留守の状況別本体調査における把握状況

本体調査前後に常住地以外に寝泊まりした場所の有無及び留守の状況別に本体調査における把握状況をみると、本体調査前後に常住地以外に寝泊まりした場所が「なかった」とする世帯員は「本体調査で把握された」世帯員の割合は99.18%、「本体調査で把握されなかった」世帯員の割合は0.82%となっている。「本体調査で把握された」世帯員の内訳は、「常住地の1か所で把握された」世帯員の割合が97.97%、「複数箇所では把握された」世帯員の割合が1.15%、「常住地以外の1か所で把握された」世帯員の割合が0.06%となっている。本体調査前後に常住地以外に寝泊まりした場所が「あった」とする世帯員は「本体調査で把握された」世帯員の割合は99.04%、「本体調査で把握されなかった」世帯員の割合は0.96%となっている。「本体調査で把握された」世帯員の内訳は、「常住地の1か所で把握された」世帯員の割合が96.19%、「複数箇所では把握された」世帯員の割合が1.3%、「常住地以外の1か所で把握された」世帯員の割合が1.54%となっている。留守の状況（寝泊まりの理由）別に「本体調査で把握されなかった」世帯員の割合をみると「通学」が3.0%と最も高く、次いで「出稼ぎ・単身赴任」が2.79%、「入院療養」が2.32%となっており、また「複数箇所では把握された」世帯員の割合は、「出稼ぎ・単身赴任」が10.29%と非常に高く、次いで「別宅・別荘に滞在」が4.12%、「通学」が2.76%、「入院療養」が2.57%となっており、複数の住所がある世帯員において「常住地」の判断が困難と捉えられている可能性があることが考えられる。（表15）

表15 本体調査時点の住民登録地別世帯員の本体調査における把握状況

	(%)						[参考] 対象人員数 (人)
	総数	本体調査で 把握された	常住地の 1か所で 把握された	複数箇所 で把握された	常住地以外 の1か所 で把握された	本体調査で 把握され なかった	
総数	100.00	99.24	98.03	1.03	0.18	0.76	117,115,143
なかった	100.00	99.18	97.97	1.15	0.06	0.82	94,084,227
あった	100.00	99.04	96.19	1.30	1.54	0.96	9,403,539
旅行	100.00	99.51	99.35	0.09	0.06	0.49	3,209,491
出稼ぎ・単身赴任	100.00	97.21	83.12	10.29	3.80	2.79	283,517
出張・研修	100.00	99.38	97.75	0.96	0.67	0.62	991,087
別宅・別荘に滞在	100.00	98.57	89.00	4.12	5.45	1.43	312,854
入院療養	100.00	97.68	93.38	2.57	1.74	2.32	773,412
冠婚葬祭	100.00	100.00	100.00	0.00	0.00	0.00	385,147
帰省・里帰り	100.00	99.34	97.73	0.54	1.07	0.66	2,015,136
勤務先に宿泊	100.00	98.31	96.55	1.08	0.68	1.69	462,778
通学	100.00	97.00	91.69	2.76	2.55	3.00	56,173
友人宅に宿泊	100.00	98.22	98.22	0.00	0.00	1.78	176,919
その他	100.00	98.05	88.77	1.84	7.45	1.95	977,119
不在の理由「不詳」	100.00	99.43	95.74	3.13	0.56	0.57	551,144
留守の状況「不詳」	100.00	99.80	99.74	0.02	0.04	0.20	13,627,378

(15) 世帯主の年齢階級別世帯の本体調査における把握状況

世帯単位で本体調査における把握状況をみると、「全員が本体調査で常住地の1か所で把握された」世帯の割合は94.45%、「複数箇所では把握された者がいる」世帯の割合は1.1%、「常住地以外の1か所で把握された者がいる」世帯の割合は0.29%、「本体調査で把握されなかった者がいる」世帯の割合は1.1%となっている。

世帯主の年齢階級別にみると、「20～24歳」で「本体調査で把握されなかった者がいる」世

帯の割合が最も高く、15～25歳の若年層で「全員が本体調査で常住地の1か所で把握された」世帯の割合が低い傾向がみられる。(表16)

※ 照合結果は、重複カウントのため総数と内訳の計は一致しない。割合の算出に用いた分母は世帯総数である。

表16 世帯主の年齢階級別世帯の本体調査における把握状況

(%)											【参考】 対象世帯数 (世帯)
総数	全員が 本体調査で 常住地の 1か所で 把握された	複数箇所 で把握され た者がいる	うち全員が	常住地以外 の1か所で 把握された 者がいる	うち全員が	把握されな かった者 が いる	うち全員が 本体調査で 把握されな かった	照合結果 「不詳」の 者がいる	うち全員が		
			複数箇所 で把握され た		常住地以外 の1か所で 把握され た						
総数	100.00	94.45	1.10	0.80	0.29	0.17	1.10	0.47	3.14	2.53	49,279,753
15歳未満	100.00	100.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	366
15～19歳	100.00	88.13	0.82	0.82	1.63	0.82	1.97	1.63	7.79	7.45	191,107
20～24歳	100.00	86.73	0.61	0.61	0.83	0.83	2.54	2.16	9.28	9.10	844,318
25～29歳	100.00	91.18	0.59	0.48	0.86	0.74	1.99	1.18	5.50	4.35	1,318,568
30～34歳	100.00	93.72	1.38	1.07	0.69	0.54	1.76	1.08	2.46	1.83	1,997,932
35～39歳	100.00	95.87	1.16	0.93	0.34	0.29	1.04	0.41	1.68	0.87	2,652,523
40～44歳	100.00	95.52	1.66	1.00	0.27	0.18	0.95	0.52	1.73	1.12	3,494,908
45～49歳	100.00	94.97	1.85	1.18	0.54	0.37	1.53	0.49	1.25	0.67	3,459,741
50～54歳	100.00	94.37	1.87	1.52	0.18	0.04	1.76	0.53	1.92	0.58	3,473,571
55～59歳	100.00	95.12	2.32	1.59	0.46	0.28	1.44	0.43	0.86	0.27	3,463,621
60～64歳	100.00	96.05	1.61	1.02	0.26	0.15	1.17	0.33	0.99	0.33	4,190,925
65～69歳	100.00	97.10	1.01	0.82	0.21	0.12	1.09	0.41	0.59	0.18	4,931,966
70～74歳	100.00	97.65	0.53	0.44	0.17	0.00	1.13	0.49	0.63	0.19	4,117,777
75～79歳	100.00	97.90	0.61	0.56	0.06	0.00	0.81	0.42	0.66	0.33	3,252,483
80～84歳	100.00	96.70	1.04	0.65	0.15	0.06	0.60	0.40	1.53	0.50	2,431,849
85歳以上	100.00	95.76	0.99	0.73	0.53	0.03	1.72	0.52	1.39	0.54	1,839,881
年齢「不詳」	100.00	87.92	0.00	0.00	0.04	0.02	0.14	0.12	11.90	11.62	7,618,219

付録

付 1 平成 27 年国勢調査の概要

1 調査の沿革

国勢調査は、我が国の人口・世帯の状況を明らかにするため、大正 9 年以来ほぼ 5 年ごとに行っており、平成 27 年国勢調査はその 20 回目に当たる。

国勢調査は、大正 9 年を初めとする 10 年ごとの大規模調査と、その中間年の簡易調査とに大別され、平成 27 年国勢調査は簡易調査である。

なお、大規模調査と簡易調査の差異は、主として調査事項の数にある。その内容をみると、戦前は、大規模調査（大正 9 年、昭和 5 年、15 年）の調査事項としては男女、年齢、配偶関係等の人口の基本的属性及び産業、職業等の経済的属性であり、簡易調査（大正 14 年、昭和 10 年）の調査事項としては人口の基本的属性のみに限っていた。戦後は、国勢調査結果に対する需要が高まったことから調査事項の充実を図り、大規模調査（昭和 25 年、35 年、45 年、55 年、平成 2 年、12 年、22 年）の調査事項には人口の基本的属性及び経済的属性のほか住宅、人口移動、教育に関する事項を加え、簡易調査（昭和 30 年、40 年、50 年、60 年、平成 7 年、17 年、27 年）の調査事項には人口の基本的属性のほか経済的属性及び住宅に関する事項を加えている。

なお、沖縄県は、昭和 47 年 5 月 15 日に我が国に復帰し、昭和 50 年の国勢調査から調査地域となったが、復帰前の沖縄県においても、琉球列島軍政本部又は琉球政府によって 5 回の国勢調査が実施されている。

2 調査の時期

平成 27 年国勢調査は、平成 27 年 10 月 1 日午前零時（以下「調査時」という。）現在によって行った。

3 調査の法的根拠

平成 27 年国勢調査は、統計法（平成 19 年法律第 53 号）第 5 条第 2 項の規定並びに次の政令及び総務省令に基づいて行った。

国勢調査令（昭和 55 年政令第 98 号）

国勢調査施行規則（昭和 55 年総理府令第 21 号）

国勢調査の調査区の設定の基準等に関する省令（昭和 59 年総理府令第 24 号）

4 調査の地域

平成 27 年国勢調査は、我が国の地域のうち、国勢調査施行規則（昭和 55 年総理府令第 21 号）第 1 条に規定する次の島を除く地域において行った。

- (1) 歯舞群島、色丹島、国後島及び択捉島
- (2) 島根県隠岐郡隠岐の島町にある竹島

5 調査の対象

平成 27 年国勢調査は、調査時において、本邦内に常住している者について行った。ここで「常

住している者」とは、当該住居に3か月以上にわたって住んでいるか、又は住むことになっている者をいい、3か月以上にわたって住んでいる住居又は住むことになっている住居のない者は、調査時現在いた場所に「常住している者」とみなした。

ただし、次の者については、それぞれ次に述べる場所に「常住している者」とみなしてその場所で調査した。

- 1 学校教育法（昭和22年法律第26号）第1条に規定する学校、第124条に規定する専修学校又は第134条第1項に規定する各種学校に在学している者で、通学のために寄宿舍、下宿その他これらに類する宿泊施設に宿泊しているものは、その宿泊している施設
- 2 病院又は療養所に引き続き3か月以上入院し、又は入所している者はその病院又は療養所、それ以外の者は3か月以上入院の見込みの有無にかかわらず自宅
- 3 船舶（自衛隊の使用する船舶を除く。）に乗り組んでいる者で陸上に生活の本拠を有するものはその住所、陸上に生活の本拠のないものはその船舶
なお、後者の場合は、日本の船舶のみを調査の対象とし、調査時に本邦の港に停泊している船舶のほか、調査時前に本邦の港を出港し、途中外国の港に寄港せず調査時後5日以内に本邦の港に入港した船舶について調査した。
- 4 自衛隊の営舎内又は自衛隊の使用する船舶内の居住者は、その営舎又は当該船舶が籍を置く地方総監部（基地隊に配属されている船舶については、その基地隊本部）の所在する場所
- 5 刑務所、少年刑務所又は拘置所に収容されている者のうち、死刑の確定した者及び受刑者並びに少年院又は婦人補導院の在院者は、その刑務所、少年刑務所、拘置所、少年院又は婦人補導院

本邦内に常住している者は、外国人を含めて全て調査の対象としたが、次の者は調査の対象から除外した。

- 1 外国政府の外交使節団・領事機関の構成員（随員を含む。）及びその家族
- 2 外国軍隊の軍人・軍属及びその家族

6 調査事項

平成27年国勢調査では、次に掲げる事項について調査した。

（世帯員に関する事項）

- 1 氏名
- 2 男女の別
- 3 出生の年月
- 4 世帯主との続柄
- 5 配偶の関係
- 6 国籍
- 7 現住居での居住期間
- 8 5年前の住居の所在地
- 9 就業状態
- 10 所属の事業所の名称及び事業の種類
- 11 仕事の種類

- 12 従業上の地位
- 13 従業地又は通学地

(世帯に関する事項)

- 1 世帯の種類
- 2 世帯員の数
- 3 住居の種類
- 4 住宅の建て方

7 調査の方法

平成 27 年国勢調査は、総務省統計局－都道府県－市町村－国勢調査指導員－国勢調査員－世帯の流れにより行った。

調査の実施に先立ち、平成 27 年国勢調査調査区（以下「調査区」という。）を設定し、調査区の境界を示す地図を作成した。調査区は、原則として 1 調査区におおむね 50 世帯が含まれるように設定され、その数は約 104 万である。

なお、調査区は、平成 2 年国勢調査から恒久的な単位区域として設定されている基本単位区を基に構成されている。

調査は、総務大臣により任命された約 70 万人の国勢調査員又は調査員事務を受託した事業者（以下「調査員等」という。）が、次の方法により行った。

- 1 調査員等は、担当する地域の全ての世帯にインターネット回答の利用案内を配布する。世帯は、9 月 10 日～20 日の期間にインターネット回答を行う。
- 2 その後、調査員等はインターネット回答のなかった世帯に調査票等を配布する。世帯は、記入した調査票をそのまま調査員等に提出するか、又は郵送により提出することにより回答を行う。

ただし、世帯員の不在等の事由により、前述の方法による調査ができなかった世帯については、国勢調査員が、当該世帯について「氏名」、「男女の別」及び「世帯員の数」の 3 項目に限って、その近隣の者に質問することにより調査した。

なお、調査に用いた調査票は、直接、光学式文字読取装置で読み取りができるもので、1 枚に 4 名分記入できる連記票である。

こちらは、ウラ側です
オモテ側から記入してください

	1	2	3	4
9月24日から30日 までの1週間に仕事を しましたか - 仕事とは収入を伴う仕事を いい 自家営業(農業や店の 仕事など)の手伝いや内職・ パートタイム・アルバイト も含めます - 通学には 予備校・専門学校 などに通っている場合も 含めます - 幼稚園又は保育所などに 通っている場合はその他に 記入してください	主に仕事 家事などのほか仕事 通学のかたわら仕事 少しも仕事をしなかった人 仕事でをた 仕事でをた 家事をた 通学をた その他(幼児や高齢など)をた	主に仕事 家事などのほか仕事 通学のかたわら仕事 少しも仕事をしなかった人 仕事でをた 仕事でをた 家事をた 通学をた その他(幼児や高齢など)をた	主に仕事 家事などのほか仕事 通学のかたわら仕事 少しも仕事をしなかった人 仕事でをた 仕事でをた 家事をた 通学をた その他(幼児や高齢など)をた	
就業・通学者について (・仕事をしている場所又は通学している学校の場所について記入してください (・10欄で仕事を休んでいたに記入した人は11～14欄にその休んでいた仕事について記入してください)	11 従業地又は通学地 仕事も通学もしている人は 仕事をしている場所について 記入してください 同じ市内の他の区に通学・ 通学している場合は 他の区・ 市町村に記入してください 他の区・市町村の場合は 都道府県・市区町村名も 書いてください (東京都区部と政令指定 都市の場合は区名まで)	12 勤めか 自営かの別 労働者派遣事業所の派遣 社員とは 労働者派遣法に 基づいて派遣されている人を いいます パート・アルバイト・その他には 契約社員 嘱託なども含めます 自営業主とは 個人で事業を 経営している人(農家などを 含む)や自由業の人をいいます	13 勤め先・業主などの 名称及び事業の内容 仕事をしている事業所 (本社・支店・営業所 工場・商店など)の名称 を書いてください (官公庁は課名まで) その事業所で主に営ま れている事業の内容を くわしく書いてください 労働者派遣事業所の 派遣社員は 派遣先 (実際に仕事をしている 事業所)について書いて ください	
14 本人の仕事の内容 本人が実際にしている主な 仕事の内容をくわしく 書いてください	13欄と14欄は「調査票の記入のしかた」の8～13ページの書き方の例を参考にしてくわしく書いてください	13欄と14欄は「調査票の記入のしかた」の8～13ページの書き方の例を参考にしてくわしく書いてください	13欄と14欄は「調査票の記入のしかた」の8～13ページの書き方の例を参考にしてくわしく書いてください	

この調査票は 機械にかけますので
汚さないでください

こちらは、ウラ側です
オモテ側から記入してください

	1	2	3	4
9 9月10日から10月20日までの間に7欄に記入した場所以外で寝泊まりした場所がありましたか あった なかった あったに記入した場合はその住所を書いてください アパートなどの場合はその名称や部屋番号も書いてください 入院していたり、ホテル・旅館などにいた場合はその病院や旅館などの名称を書いてください 寝泊まりした場所が複数ある場合は、その全てについて書いてください	あった なかった あったに記入した場合はその住所を書いてください アパートなどの場合はその名称や部屋番号も書いてください 入院していたり、ホテル・旅館などにいた場合はその病院や旅館などの名称を書いてください 寝泊まりした場所が複数ある場合は、その全てについて書いてください	あった なかった あったに記入した場合はその住所を書いてください アパートなどの場合はその名称や部屋番号も書いてください 入院していたり、ホテル・旅館などにいた場合はその病院や旅館などの名称を書いてください 寝泊まりした場所が複数ある場合は、その全てについて書いてください	あった なかった あったに記入した場合はその住所を書いてください アパートなどの場合はその名称や部屋番号も書いてください 入院していたり、ホテル・旅館などにいた場合はその病院や旅館などの名称を書いてください 寝泊まりした場所が複数ある場合は、その全てについて書いてください	
10 9月10日から10月20日までの間に7欄に記入した場所以外で寝泊まりした理由はなぜですか 9欄で あったに記入した場合、その理由について該当するものすべてに記入してください	旅行 出張 別宅・別荘に滞在 入院 冠婚葬祭 県省・勤務先 里帰り 通学 友人宅に宿泊 その他	旅行 出張 別宅・別荘に滞在 入院 冠婚葬祭 県省・勤務先 里帰り 通学 友人宅に宿泊 その他	旅行 出張 別宅・別荘に滞在 入院 冠婚葬祭 県省・勤務先 里帰り 通学 友人宅に宿泊 その他	
11 国勢調査を受けましたか 受けた わからない 受けてない	受けた わからない 受けてない	受けた わからない 受けてない	受けた わからない 受けてない	
12 記入したのはだれですか 調査票を実際に記入(入力)した世帯員を記入してください	記入した世帯員	記入した世帯員	記入した世帯員	
13 国勢調査の調査票をどのように提出しましたか	インターネットで回答 調査員に提出 郵送で提出 その他の方法で提出	インターネットで回答 調査員に提出 郵送で提出 その他の方法で提出	インターネットで回答 調査員に提出 郵送で提出 その他の方法で提出	
14 国勢調査にどこで回答しましたか インターネットで回答した場合は、回答時に入力したお住まいの住所を記入してください	7欄で回答したところ 9欄で回答したところ それ以外	7欄で回答したところ 9欄で回答したところ それ以外	7欄で回答したところ 9欄で回答したところ それ以外	
II欄 あなたの世帯で国勢調査を受けたが、現在はいっしょに住んでいない人について 記入してください				
1 氏名及び男女の別 あなたの世帯で国勢調査を受けたが現在はいっしょに住んでいない人をのりなく書いてください	1 (氏名) 男 女	2 (氏名) 男 女	3 (氏名) 男 女	4 (氏名) 男 女
2 出生の年月 該当する元号又は西暦に記入したうえで年及び月を書いてください 年を西暦で記入する場合は西暦年の4桁を書いてください	明治 大正 昭和 平成 西暦 年 月	明治 大正 昭和 平成 西暦 年 月	明治 大正 昭和 平成 西暦 年 月	明治 大正 昭和 平成 西暦 年 月

この調査票は機械にかけますので汚さないでください

2

第2面

ご記入ありがとうございました